

鹿児島大学大学院農林水産学研究科
履修の手引き

Guidebook for taking courses at the Graduate School of
Agriculture, Forestry and Fisheries,
Kagoshima University

2020 年度入学者用

For students enrolled in 2020

鹿児島大学大学院農林水産学研究科

Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University

農林水産学研究科履修の手引き 目次
Contents

1. 農林水産学研究科概要	1
1) 概要	
2) 養成する人材像	
3) ディプロマポリシー	
4) カリキュラムポリシー	
5) 各専攻の概要	
1. Outline of The Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries	
1) Overview	
2) Our Image of Human Resources	
3) Diploma Policies	
4) Curriculum Policies	
5) Overview of Departments	
2. 担当教員一覧	15
2. Teaching Staff	
3. 履修課程表	23
3. Curriculum Guide	
4. 履修の方法と注意	71
4. Methods to Study and Important Points	
5. 熱帯水産学国際連携履修プログラム	81
6. 食品管理技術者教育プログラム	85
7. 留学生プログラム	89
7. Foreign Student Programme	
8. ダブル・ディグリープログラム	93
8. Double Degree Programme	
9. 大学院全学横断的教育プログラム	97
9. University-wide Educational Programme	
10. 科目一覧	101
10. List of Subjects	
11. 関係規則	113
11. Academic Rules	

1. 農林水産学研究科概要
Outline of The Graduate School of
Agriculture, Forestry and Fisheries

1. 鹿児島大学大学院農林水産学研究科概要

1) 概要

本研究科は、国内有数の食料供給地である南九州から東南アジア・南太平洋を視野に、人々の健全な生活基盤である農林水産業・食・環境・生命科学の分野の高度専門教育をおこない、資源の持続的生産とその合理的利用及び環境保全に対応するスペシャリストの養成を目指している。これによって、急速にグローバル化する産業構造の変化、地球規模での環境変動、ならびに地方で特に深刻な労働力人口の激減など、地域と世界が直面する課題の解決に貢献しようとするものである。

2) 養成する人材像

農林水産学研究科は、人の健全な生活の基盤である農林水産業、食、環境、生命科学などの分野に関する高度な専門教育を行い、農学及び水産学が取り扱う分野における高度な研究・開発能力を備え、地域に貢献できる人材、さらには世界で活躍できる人材を養成する。

3) ディプロマポリシー

農林水産学研究科では、以下に挙げる能力を身につけ、所定の単位を修得し、審査に合格した者に修士の学位を授与する。

(1) 植物生産科学、畜産科学、地域ビジネス、食品流通、養殖、食品創成に関する生産活動、食と健康、及びそれらの基盤となる地域の環境特性、亜熱帯化、森林管理、防災、水産資源、地域の生物環境の高度な専門知識を有し、課題解決方法の提案やその実現の実践力を持つ。

(2) 農畜林水産業や食品産業における問題を提起し、地域社会において指導的立場での解決方策を示す能力を持つ。

4) カリキュラムポリシー

農学、畜産学、森林科学、水産学に関連した高度な知識・技術を修得させるとともに、先端的な実験、実践的な実習及び演習によって地域社会において指導的立場での解決方策を示すことができる実践力養成教育を行う。

5) 各専攻の概要

【農林資源科学専攻】

① 養成する人材像

農林畜産資源に関する高度な専門教育並びに実践教育と高度な技術・理論を修得し、国際的かつ日本の主要な農業生産地帯である南九州を基盤とした地域社会において、農林畜産業の振興と発展、問題点抽出とその解決に際して、指導的立場で中心的役割を果たせる人材を養成する。

このような人材を育成するため、以下の4コースを設置している。

・植物生産科学コース

農作物・園芸作物の栽培，施肥，土壌診断，病害虫防除法，植物の遺伝的改良に関する高度な専門教育を行い、それを生かして指導的立場で問題解決できる人材，地球温暖化等の環境の変化に起因する様々な農業生産上の問題に対して広い視野と国際性を持って取り組める人材を養成する。

・畜産科学コース

高品質家畜の効率的かつ持続可能な生産管理と畜産物の高付加価値化・高度利用技術の開発に関した深い知識と実践的な技術を修得させる専門教育を行い，畜産の振興と発展，国際化等に関わる問題点抽出とその解決に際して，地域社会において中心的役割を果たせる人材を養成する。

・森林科学コース

生物・生態学的側面からの森林の解明，国土保全、地域防災，水資源涵養、循環的な資源利用・再生産のための保護・管理計画，生産システム・計測技術の高度化、高機能性木質材料の開発，森林・林業に関わる社会経済・政策、林業再生、山村振興に関する高度な専門教育を行い，森林資源の持続的管理に取り組む人材を養成する。

・食料農業経済学コース

グローバル化が進む食料・農業・農村の問題について、社会科学的な手法による専門的な教育を行い、食料・農業問題、地域振興及びアグリビジネスに関する高度な知識と実践力を備えた地域リーダー、政策立案者、アグリビジネス従事者を養成する。

②ディプロマポリシー

所定の単位数を修得した上で修士論文または特定の課題についての研究成果の審査及び試験に合格し、下記の資質・能力を身につけた学生に対して修士（農学）の学位を授与する。

・農林畜産資源の生産・加工・消費、環境フィールド、社会連携に関する幅広い知識と高度で実践的な技術

・地域の農林畜産技術の発展と農山村振興に関わる問題点抽出とその解決に際して，地域社会において中心的役割を果たせる能力

【食品創成科学専攻】

①養成する人材像

農畜水産資源に関する食品学、先端生命科学、応用食品開発学及び加工・保蔵学、並びに焼酎・発酵食品、微生物に関するより高度な専門知識を身につけ、課題解決方法の提起やその実現のための技術を修得した食品・生命科学関連産業における指導的立場での解決能力を示せる人材を養成する。

このような人材を育成するため、以下の3コースを設置している。

・食品科学コース

地域食品素材が有するタンパク質、脂質、糖質の基本的性質をはじめとして、それらが有する栄養、機能性成分と健康との関わりのみならず、加工特性や保存性、安全性に関する専門教育を行い、食品関連分野及び地域において指導的な立場で活躍できる人材を養成する。

・先端生命科学コース

先端的でかつ学際的な生命科学に関する知識と技術を修得し、先端的な生命科学研究を遂行するための専門教育を行い、地域生物資源のリスクとベネフィットの関係性を理解したうえで、その利活用ができる能力を有する人材を養成する。

・焼酎発酵・微生物科学コース

微生物をはじめとした生物機能の利用に関する専門教育を行い、これらの知識と技術を身につけ、食に関係する分野及び地域産業として特色のある焼酎、発酵食品産業で活躍できる人材を養成する。

②ディプロマポリシー

所定の単位数を修得した上で修士論文または特定の課題についての研究成果の審査及び試験に合格し、下記の資質・能力を身につけた学生に対して修士（農学）、修士（水産学）のいずれかの学位を授与する。

修士（農学）

- ・農産物を中心とした農畜水産資源に関する食品学、先端生命科学、応用食品開発学および加工・保蔵学、ならびに焼酎・発酵食品に関するより高度な専門知識
- ・課題解決方法の提案やその実現のための技術修得
- ・食品・生命科学関連産業における問題の提起と指導的立場での解決能力

修士（水産学）

- ・水産物を中心とした農畜水産資源に関する食品学、先端生命科学、応用食品開発学および加工・保蔵学、ならびに焼酎・発酵食品に関するより高度な専門知識
- ・課題解決方法の提案やその実現のための技術
- ・食品・生命科学関連産業における問題の提起と指導的立場での解決能力

専攻内の各コースで授与する学位の種類は次のとおりとし、食品科学コースと先端生命科学コースにおいてどちらの学位を授与するかは、学生の研究分野と修得科目を基に決定する。

食品科学コース：修士（農学）または修士（水産学）

先端生命科学コース：修士（農学）または修士（水産学）

焼酎発酵・微生物科学コース：修士（農学）

【環境フィールド科学専攻】

①養成する人材像

南西諸島と南九州周辺の陸域・海域に特有の気候、環境、災害、生物資源、及びそれらの関連性を理解するための高度な科学的知識、さらに、当該地域の環境保全、生産環境・基盤に関する実践的知識と先進技術を身につけ、これらに関わる問題点の抽出とその解決策の提案を通して地域の一次産業の振興に貢献し、地域社会において中心的役割を果たせる人材を養成する。

このような人材を育成するため、以下の2コースを設置している。

・生物環境科学コース

黒潮の影響を強く受けた南西諸島と南九州周辺の環境特性及び生物に与える影響に関する科学的知識と高度な調査技術を身につけ、地域環境の監視、生物資源の活用と生物相の保全について実践的に取り組むことができる人を養成する。

・環境システム科学コース

南西諸島と南九州周辺の陸域・海域に特有の気候・環境・災害に関する科学的知識を身につけ、それらの知識とフィールドデータセンシングやロボットなどの先進技術に基づき、地域環境の保全、地域資源の活用、農業生産基盤の整備、農業気象災害のリスク評価及びその軽減について実践的に取り組むことができる人を養成する。

②ディプロマポリシー

所定の単位数を修得した上で修士論文または特定の課題についての研究成果の審査及び試験に合格し、下記の資質・能力を身につけた学生に対して修士（農学）、修士（水産学）のいずれかの学位を授与する。

修士（農学）

- ・陸域を中心とする気候変動と地域の環境、保全と防災、地域の生物環境保全に関し幅広い知識と高度で実践的な技術
- ・当該地域の環境保全、防災・減災に関わる問題点の抽出とその解決に際して、地域社会において中心的役割を果たせる能力

修士（水産学）

- ・海域を中心とする気候変動と地域の環境、保全と防災、地域の生物環境保全に関し幅広い知識と高度で実践的な技術
- ・当該地域の環境保全、防災・減災に関わる問題点の抽出とその解決に際して、地域社会において中心的役割を果たせる能力

専攻内の各コースで授与する学位の種類は次のとおりとし、どちらの学位を授与するかは、学生の研究分野と修得科目を基に決定する。

生物環境科学コース : 修士（農学）または修士（水産学）

環境システム科学コース : 修士（農学）または修士（水産学）

【水産資源科学専攻】

①養成する人材像

水産政策学、水産流通学、資源生物学、資源生産学、増養殖学、環境保全学に関わる専門教育を行い、水産業を取り巻く社会経済、資源、漁業技術、増養殖技術、漁場環境に関わる多様な課題やその課題に対する改善アプローチについての総合的かつ専門的理解を持ち、地域や国際社会で水産業の発展に活躍できる人材を養成する。

このような人材を育成するため、以下の4コースを設置している。

・生物資源科学コース

水産資源生物の持続的な開発への貢献を目指し、資源生物の分布や再生産に関わる生態、資源生物の行動メカニズムの理解と漁業技術への応用、選択的漁獲技術、漁労活動の省力・省エネ化、音響機器による資源計測・評価、フィールド調査法、データ分析法に関する専門教育を行う。水産資源生物や漁業技術に関わるグローバルな専門知識を備え、資源の持続的利用の実現に貢献できる人材を養成する。

・増養殖学コース

増養殖は水産資源の持続的な維持増大に大きく貢献する手法である。増養殖学コースは、豊かな養殖漁場を持つ南九州海域及び陸水域を学びの場として、増養殖に必要な生殖技術、種苗生産、栄養・飼料、魚病・免疫に関する専門教育を学際的及び実践的な視点から実施する。これにより、国際的水準の知識と技術を修得し、国内外の増養殖産業における課題を解決できる、高度な専門性を備えた水産技術者を養成する。

・環境保全学コース

水圏生物資源生産の場としての漁場環境の保全を目的として、化学物質による水圏環境の汚染と水圏資源生物や水圏生態系に対する影響評価、漁場の富栄養化と赤潮、これら諸問題の解決法に関する高度な専門的知識、現場調査法、高度機器を用いた汚染物質や生体高分子物質の分析法と関連するデータベースの利用法を教育し、水圏汚染環境の修復やその影響を受ける水圏生物資源生産・活用の場で活躍できる人材を養成する。

・流通・政策学コース

「水産業が他産業では代替できない貴重な食料供給産業であり、国民経済上ならびに南九州の地方創生を考える上で不可欠な存在である」との認識を基礎として、水産資源と漁場の合理的利用、水産業を核とする地域活性化、水産業の安定的発展と水産政策、水産物の流通と加工、水産物の消費とマーケティングに関する高度な専門教育を行う。流通・政策をデータに基づき分析する研究能力を持ち、水産振興による地域創生を実現するための流通モデル・経営モデル・政策モデルを開発することにより消費者ニーズに適合した水産物供給を支援することが出来る人材を養成する。

②ディプロマポリシー

所定の単位数を修得した上で修士論文または特定の課題についての研究成果の審査及び試験に合格し、下記の資質・能力を身につけた学生に対して修士（水産学）の学位を授与する。

・資源生産環境の保全に関する高度な知識を踏まえ、養殖・水産資源管理・漁場保全等の水産現場における新技術の開発や、経営・流通・政策についてデータに基づく分析をおこなう能力

・水産振興による地域創生を実現するために、消費者ニーズに適合した水産物生産を支援する能力

1. Outline of The Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries

1) Overview

The Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries provides highly specialized education in the various fields which support the sound living of human communities. These include agriculture, forestry and fisheries, food science, environmental and life sciences. The School aims to develop specialists in the southern Kyushu area, which is a significant food supplier in Japan, as well as Southeast Asia extending to the South Pacific. The goal for students is to make a difference in the sustainable production of resources, their rational use and environmental conservation. In doing so, the School aims to contribute to solving the pressing issues which local communities and the world are facing, such as rapid changes in the globalization of industries, global climate change and the sharp drop in the productive human population, a problem which is particularly serious in rural communities.

2) Our Image of Human Resources

The Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries provides professional education in the fields of agriculture, forestry and fisheries, food science, environmental and life sciences, which support the sound living of human communities. The school aims to train human resources who can contribute to high-level research in the sciences of agriculture and fisheries, improve the communities they live in and eventually play an active part in the improvement of the world.

3) Diploma Policies

The Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries awards a master's degree to those who have acquired the following capabilities, been awarded the credits required for graduation and passed a thesis examination.

- (1) Advanced specialized knowledge in plant production science, animal science, regional business, food distribution, aquaculture, production activities relating to food innovation, food and health, regional environmental characteristics supporting food and health, sub-tropicalisation, forest management, disaster reduction, fisheries resources and the regional biological environment and the practical capabilities for proposing solutions and implementing them.
- (2) Capabilities to solve issues in agriculture, livestock, forestry, fisheries and food industries and take a leadership role in local communities to propose solutions.

4) Curriculum Policies

The School teaches advanced knowledge and skills in the science of agriculture, livestock science, forestry science and fisheries science and develops practical capability through advanced experiments, on-the-job and practical training, to enable students to recommend solutions from a leadership position in local communities.

5) Overview of Departments

【Agriculture, Natural Resources and Forestry】

① Our Image of Human Resources

Persons who have undergone advanced professional/practical education and acquired advanced techniques/theories in agriculture, forestry and livestock resources and have the capability to take a leadership position and play a central role in the promotion and development of agriculture, forestry and livestock industries as well as identify problems and solve them in local communities in southern Kyushu, which is a major international and domestic farm producer.

To develop these human resources, the following four Courses are offered:

• Plant Production Science

The Course provides advanced professional education in plant production science including agronomy, horticultural science, plant nutrition, soil science, pest control and genetic improvements. In addition, the course develops human resources who utilize what they have learned in solving problems from a leadership position and who apply a broad viewpoint and have an international sense in dealing with problems of agricultural production arising from environmental changes such as global warming.

• Animal Science

The Course provides in-depth knowledge relating to efficient and sustainable production management of high-quality livestock and development of high-value-added livestock products/advanced utilization techniques and offers professional education to enable students to acquire practical skills to play a central role in local communities in identifying and solving problems regarding promotion, development and internationalization of the livestock industry.

• Forest Management

The Course provides advanced professional education on subjects relating to studying forests from a biological/ecological viewpoint, land conservation, community disaster reduction, water resources conservation. In addition, the course teaches how to develop protection/management plans for cyclical resource utilization/reproduction, sophistication of production system/measurement techniques, development of highly functional wood-based materials, socioeconomic policies relating to forests and forestry, restoration of forestry and revitalization of forestry communities to develop human resources who work on sustainable management of forestry resources.

• Food and Agricultural Economics

The Course provides by means of social science methods for professional education in subjects relating to the rapidly globalizing food industry, agriculture and agricultural communities. The goal is to develop local leaders, policymakers and agribusiness managers who possess advanced knowledge and practical skills in food/agriculture issues, local revitalization and agribusiness.

② Diploma Policies

The Master's degree (Agriculture and Forestry Science) shall be awarded to students who have been awarded the credit points required for graduation and have passed a thesis examination or screening of their research results on a specific theme and have the following credentials/capabilities.

- A broad knowledge of, and sophisticated and practical skills in the production, processing and consumption of agricultural, forestry and livestock resources, as well as in environmental field and social cooperation.
- The capability to play a central role in local communities in identifying and solving problems relating to the development of local agricultural, forestry and livestock techniques and revitalization of farming and forestry communities.

【Food Innovation Science】

① Our Image of Human Resources

The Department develops human resources who possess advanced professional knowledge in food science of agricultural, livestock and fisheries resources, advanced life sciences, applied science and technology for food development, food processing and preservation science, shochu (distilled alcoholic beverage)/fermented foods and microorganisms, and have the skills to recommend and implement solutions to problems and to take a leading role in dealing with issues in the food and life science industries.

To develop these human resources, the following three Courses are offered.

• Food Science

The Course provides professional education not only on the basic characteristics of the proteins, lipids and carbohydrates contained in locally available food materials and the relationship between their nutritional facts/functional ingredients and health, but also on processing characteristics, storage stability and safety. The goal of the course is to develop human resources who play a leading role in food-related fields and local communities.

• Advanced Life Science

The Course provides knowledge and skills in the advanced life sciences in an interdisciplinary way and offers the professional education necessary to do research in the advanced life sciences. The goal of the course is to develop human resources capable of comprehending the risk-benefit relationship of local biological resources and use/utilize them.

• Microbiology and Fermentation Technology

The Course provides professional education on the use of microorganisms and other biological resources to enable students to acquire such knowledge and skills so that they develop into human resources who will succeed in food-related fields or characteristic local industries such as shochu or fermented food production.

② Diploma Policies

The Master's degree in Agronomy or Fisheries Science shall be awarded to students who have been awarded the credit points required for graduation, passed the examination on their master's thesis or screening of research outcome on a specific theme and acquired the following credentials/capabilities.

Master's degree (Agriculture and Forestry Science)

- This degree provides more advanced professional knowledge in food science regarding produce and other agricultural, livestock and fisheries resources, advanced life sciences, applied science and technology for food development, food processing and preservation science, and shochu/fermented foods.

To receive the degree, a student must:

- Have mastered skills necessary to recommend and implement solutions to problems.
- Possess the capability to point out problems in industries relating to food, life science, etc. and take a leadership in solving them.

Master's degree (Fisheries Science)

- This degree provides more advanced professional knowledge in food science regarding marine products and other agricultural, livestock and fisheries resources, advanced life sciences, applied science and technology for food development and food processing and preservation science, and shochu/fermented foods.

To receive the degree, a student must:

- Have mastered skills necessary to recommend and implement solutions to problems.
- Have the capability to point out problems in industries relating to food, life science, etc. and take a leadership in solving them.

Each Course of this Department shall award the following degree. The type of degree awarded shall be decided depending on the research field and the subjects the student has completed.

Food Science :

Master's degree (Agriculture and Forestry Science) or Master's degree (Fisheries science)

Advanced Life Science :

Master's degree (Agriculture and Forestry Science) or Master's degree (Fisheries science)

Microbiology and Fermentation Technology :

Master's degree (Agriculture and Forestry Science)

【Field Environment Science】

① Our Image of Human Resources

The Department provides the advanced scientific knowledge necessary to understand the climate, environment, types of disasters, biological resources unique to the land and sea area surrounding the Nansei Islands and southern Kyushu and the relationships among them in addition to gaining practical knowledge and sophisticated techniques on environmental conservation and agricultural production environment/infrastructure of such localities. The goal is to nurture students into human resources who

identify and recommend solutions to the problems regarding these and to contribute to the development of local agriculture while playing a central role in local communities.

To develop these human resources, the following two Courses are offered:

- Aquatic Biological Science

The Course provides scientific knowledge and sophisticated survey techniques for determining the environmental characteristics of the area around the Nansei Islands and southern Kyushu that are greatly affected by the Kuroshio Current. In addition, the course investigates the effect that this current has on life, and enables students to work practically on monitoring the local environment, the utilization of biological resources and the conservation of local flora and fauna.

- Environmental System Science

The Course provides scientific knowledge about the climate, environment and disasters unique to the land and sea areas of the Nansei Islands and around southern Kyushu to enable students to use such knowledge and obtain advanced field data in sensing and robot technologies, etc. and to work out practical solutions for the conservation of the local environment, utilization of locally available resources, improvement of agricultural production infrastructure and risk assessment, and mitigation of agricultural meteorological disasters.

②Diploma Policies

The Master's degree (Agriculture and Forestry Science) or Master's degree (Fisheries Science) shall be awarded to students who have been awarded the credit points required for graduation, passed the examination on their master's thesis or screening of their research outcome on a specific theme and acquired the following credentials/capabilities.

Master's degree (Agriculture and Forestry Science)

- A broad knowledge and advanced and practical skills on the climate change taking place on land and the local environment, conservation and disaster reduction, and conservation of the local biological environment.
- The capability to play a central role in the local communities in the conservation of the local environment, and in the identification and provision of solutions to problems relating to disaster reduction/mitigation.

Master's degree (Fisheries Science)

- A broad knowledge and advanced as well as practical skills in dealing with the climate change taking place in the waters in the local environment, conservation and disaster reduction, and conservation of the local biological environment.
- The capability to play a central role in local communities in the conservation of the local environment, and in the identification and provision of solutions to problems relating to disaster reduction/mitigation.

Each course of this department shall award the following degree. The type of degree awarded shall be decided depending on the research field and the subjects that the student has completed.

Aquatic Biological Science :

Master's degree (Agriculture and Forestry Science) or Master's degree (Fisheries Science)

Environmental System Science :

Master's degree (Agriculture and Forestry Science) or Master's degree (Fisheries Science)

【Fisheries Resource Science】

① Our Image of Human Resources

The department provides professional education on fishery policy, fishery distribution, biological resource, resource production, aquaculture and environmental conservation. In addition, the department trains human resources who possess a comprehensive and professional understanding about the socioeconomic issues surrounding the fishery industry, various issues relating to its resources, fishing techniques, aquaculture techniques and the fishing ground environment and the approach to solving these problems and playing an active role locally and internationally in the development of the fisheries industry.

To develop these human resources, the following four Courses are offered:

- Aquatic Bioresource Science and Technology

The course aims to contribute to the sustainable development of fisheries resources and provides professional education on the distribution and reproduction-related habits of these resources, clarification of their behavioral mechanisms and their application to fishing techniques, selective fishing techniques, labor/energy-saving in fishing activities, resource measurement/assessment by means of acoustic equipment, field surveying and data analysis methods. The Course trains human resources who will possess globally competitive professional knowledge in the management of fishery resources and fishing techniques, and who contribute to materializing the sustainable use of these resources.

- Aquaculture

Aquaculture contributes greatly to the maintenance and sustained increase in fisheries resources. The course uses both coastal and inland waters of southern Kyushu as the location for learning, because this area has numerous productive aquaculture facilities. In addition, the course provides, in an interdisciplinary and practical way, professional education on reproductive technology, seed production, nutrition and feed development, and fish diseases/immunity treatment required for aquaculture. In doing so, the course develops highly professional fisheries technicians who have acquired internationally competitive knowledge and techniques and have the capability to solve domestic and international problems relating to the aquaculture industry.

- Environmental and Conservation Sciences

With the purpose of protecting the fishing ground environment where aquatic biological resources are produced, the course provides advanced knowledge on the chemical pollution of the aquatic

environment, impact assessments of aquatic biological resources and aquatic ecosystems, eutrophication of fishing grounds and algae blooms, advanced professional knowledge about the solutions of these problems, field surveying methods, methods for analyzing pollutants and biological high-molecular-weight substances using advanced equipment and usage of relating databases. The goal is to train human resources who will play an active role in the recovery of polluted aquatic environments and the production/utilization of affected aquatic biological resources.

- Marketing and Management in Fisheries

Fisheries cannot be replaced by any other industry, because it supplies the essential food products and therefore is an indispensable element of the Japanese economy and critical in revitalizing the economy of southern Kyushu. Based on this recognition, the course provides advanced professional education on the rational use of fisheries resources and fishing grounds, local revitalization primarily through fisheries, stable development of the fisheries industry and policymaking, distribution and processing, and consumption and marketing of marine products. The course trains personnel who will possess research capabilities in data-based analysis on distribution/policy and can develop distribution, management and policy models so that the fisheries industry will promote local revitalization by supplying marine products to meet consumer needs.

② Diploma Policies

The Master's degree (in Fishery Science) shall be awarded to students who have earned the credit points required for graduation and have passed a thesis examination or screening of their research results on a specific theme and have the following credentials/capabilities.

- The capability to develop new technologies in aquaculture, fisheries resource management and fishing ground protection, as well as sufficient knowledge to analyze management data, distribution data and policies, all based on advanced knowledge of the conservation of the resource production environment.
- The capability to support the production of marine products to meet consumer demand and to succeed in local revitalization through the promotion of fishery.

2. 担当教員一覽

Teaching Staff

農林資源科学専攻 (Agriculture, Natural Resources and Forestry)

植物生産科学コース (Plant Production Science)

教授 (Professor)	橋本 文雄	HASHIMOTO Fumio
	遠城 道雄	ONJO Michio
	坂上 潤一	SAKAGAMI Jun-Ichi
	境 雅夫	SAKAI Masao
	志水 勝好	SHIMIZU Katsuyoshi
	田浦 悟	TAURA Satoru
	(遺伝子実験施設)	
	津田 勝男	TSUDA Katsuo
	山本 雅史	YAMAMOTO Masashi
	准教授 (Associate Professor)	樗木 直也
一谷 勝之		ICHTANI Katsuyuki
池永 誠		IKENAGA Makoto
朴 炳宰		PARK Byoung-Jae
坂巻 祥孝		SAKAMAKI Yositaka
清水 圭一		SHIMIZU Keiichi
下田代 智英		SHIMOTASHIRO Tomohide
角 明夫		SUMI Akio
吉田 理一郎		YOSHIDA Riichiro
講師 (Lecturer)		香西 直子
	助教 (Assistant Professor)	赤木 功

畜産科学コース (Animal Science)

教授 (Professor)	後藤 貴文	GOTOH Takafumi
	三好 和睦	MIYOSHI Kazuchika
	中西 良孝	NAKANISHI Yoshitaka
	大塚 彰	OHTSUKA Akira
	岡本 新	OKAMOTO Shin
	准教授 (Associate Professor)	井尻 大地
大久津 昌治		OOKUTSU Shoji
大島 一郎		OSHIMA Ichiro
下桐 猛		SHIMOGIRI Takeshi

	高山 耕二	TAKAYAMA Koji
助教 (Assistant Professor)	河邊 弘太郎 (共通教育センター)	KAWABE Kotaro

森林科学コース (Forest Management)

教授 (Professor)	枚田 邦宏	HIRATA Kunihiro
	地頭菌 隆	JITOUSONO Takashi
	西野 吉彦	NISHINO Yoshihiko
	岡 勝	OKA Masaru
	寺岡 行雄	TERAOKA Yukio
准教授 (Associate Professor)	畑 邦彦	HATA Kunihiko
	井倉 洋二	INOKURA Youji
	加治佐 剛	KAJISA Tsuyoshi
	寺本 行芳	TERAMOTO Yukiyoshi
	鶴川 信	UGAWA Shin
助教 (Assistant Professor)	榮村 奈緒子	EIMURA Naoko
	奥山 洋一郎	OKUYAMA Yoichiro

食料農業経済学コース (Food and Agricultural Economics)

教授 (Professor)	田代 正一	TASHIRO Syoichi
	豊 智行	YUTAKA Tomoyuki
准教授 (Associate Professor)	李 哉泫	LEE Jaehyeon
	坂井 教郎	SAKAI Norio
助教 (Assistant Professor)	大住 あづさ	OSUMI Azusa

食品創成科学専攻 (Food Innovation Science)

食品科学コース (Food Science)

教授 (Professor)	侯 徳興 イブラヒム ヒッサム	HOU De-Xing IBRAHIM Hisham
	上西 由翁	KAMINISHI Yoshio
准教授 (Associate Professor)	濱中 大介	HAMANAKA Daisuke
	紙谷 喜則	KAMITANI Yoshinori
	加藤 早苗	KATO Sanae
	宮田 健	MIYATA Takeshi
	進藤 譲	SHINDO Jo
	渡部 由香	WATANABE Yuka
助教 (Assistant Professor)	熊谷 百慶	KUMAGAI Momochika
	坂尾 こず枝	SAKAO Kozue

先端生命科学コース (Advanced Life Science)

教授 (Professor)	北原 兼文	KITAHARA Kanefumi
	小松 正治	KOMATSU Masaharu
准教授 (Associate Professor)	藤田 清貴	FUJITA Kiyotaka
	花城 勲	HANASHIRO Isao
	南 雄二	MINAMI Yuji
	岡本 繁久	OKAMOTO Shigehisa
	塩崎 一弘	SHIOZAKI Kazuhiro
	内匠 正太	TAKUMI Shota
	MCM フェスターガード	VESTERGAAD Mun'delanji C.
講師 (Lecturer)	加治屋 勝子	KAJIYA Katsuko
	山田 章二	YAMADA Shoji

焼酎発酵・微生物科学コース (Microbiology and Fermentation Technology)

教授 (Professor)	石橋 松二郎	ISHIBASHI Matsujiro
	岩井 久	IWAI Hisashi
	高峯 和則	TAKAMINE Kazunor
	玉置 尚徳	TAMAKI Hisanori
准教授 (Associate Professor)	二神 泰基	FUTAGAMI Taiki
	中村 正幸	NAKAMURA Masayuki
	吉崎 由美子	YOSHIZAKI Yumiko
特任助教 (Assistant Professor)	奥津 果優	OKUTSU Kayu
助教 (Assistant Professor)	鶴丸 博人	TSURUMARU Hirohito

環境フィールド科学専攻 (Field Environment Science)

生物環境科学コース (Aquatic Biological Science)

教授 (Professor)	本村 浩之	MOTOMURA Hiroyuki
	(総合研究博物館)	
	寺田 竜太	TERADA Ryuta
准教授 (Associate Professor)	(連合農学研究科)	
	山本 智子	YAMAMOTO Tomoko
	小針 統	KOBARI Toru
助教 (Assistant Professor)	久米 元	KUME Gen
	遠藤 光	ENDO Hikaru

環境システム科学コース (Environmental System Science)

教授 (Professor)	靱井 和朗	MOMII Kazuro
	中村 啓彦	NAKAMURA Hirohiko
	西 隆一郎	NISHI Takaaki
	芝山 道郎	SHIBAYAMA Michio
准教授 (Associate Professor)	肥山 浩樹	HIYAMA Hiroki
	伊藤 祐二	ITO Yuji
	神田 英司	KANDA Eiji
助教 (Assistant Professor)	平 瑞樹	HIRA Mizuki
	仁科 文子	NISHINA Ayako
	末吉 武志	SUEYOSHI Takeshi
	須本 祐史	SUMOTO Hirofumi

水産資源科学専攻 (Fisheries Resource Science)

生物資源科学コース (Aquatic Bioresource Science and Technology)

教授 (Professor)	安樂 和彦	ANRAKU Kazuhiko
	バスケス A ミゲル	VAZQUEZ A Miguel
	大富 潤	OHTOMI Jun
准教授 (Associate Professor)	土井 航	DOI Wataru
	江幡 恵吾	EBATA Keigo
	石崎 宗周	ISHIZAKI Munechika
	西 隆昭	NISHI Takaaki
	山中 有一	YAMANAKA Yuichi

増養殖学コース (Aquaculture)

教授 (Professor)	石川 学	ISHIKAWA Manabu
	小谷 知也	KOTANI Tomonari
	山本 淳	YAMAMOTO Atsushi
准教授 (Associate Professor)	田角 聡志	TASUMI Satoshi
助教 (Assistant Professor)	横山 佐一郎	YOKOYAMA Saichiro

環境保全学コース (Environmental and Conservation Sciences)

教授 (Professor)	宇野 誠一	UNO Seiichi
	吉川 毅	YOSHIKAWA Takeshi
助教 (Assistant Professor)	國師 恵美子	KOKUSHI Emiko
	奥西 将之	OKUNISHI Suguru

流通・政策学コース (Marketing and Management in Fisheries)

教授 (Professor)	佐久間 美明	SAKUMA Yoshiaki
	佐野 雅昭	SANO Masaaki
准教授 (Associate Professor)	久賀 みず保	KUGA Mizuho
	鳥居 享司	TORII Takashi

附属練習船 (Training Vessel)

かごしま丸 (Kagoshima-maru)

教授 (Professor)	内山 正樹	UCHIYAMA Masaki
講師 (Lecturer)	東 隆文	AZUMA Takafumi
助教 (Assistant Professor)	有田 洋一	ARITA Yoichi
	福田 隆二	FUKUDA Ryuji
	三橋 廷央	MITSUHASHI Takahisa

南星丸 (Nansei-maru)

准教授 (Associate Professor)	幅野 明正	HABANO Akimasa
---------------------------	-------	----------------

グローバル教育推進プロジェクト (Global education Project)

助教 (Assistant Professor)	鬼頭 景子	KITO Keiko
--------------------------	-------	------------

3. 履修課程表

Curriculum Guide

農林資源科学専攻 (Agriculture, Natural Resources and Forestry)
植物生産科学コース (Plant Production Science)

1. 必修科目 (Compulsory Subjects)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
1	1期	2	食料生産における技術イノベーションと地域創生 Innovation in Food Production and Local Community Restructure	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則
2	1期	2	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅
34	1期集中 intensive	1	農林資源科学倫理特論 Research Ethics in Agriculture, Natural Resources and Forestry	指導教員
35	1期集中 intensive	3	農林資源科学特別研究Ⅰ Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry I	指導教員
36	2期集中 intensive	4	農林資源科学特別研究Ⅱ Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry II	指導教員
37	3期集中 intensive	2	農林資源科学特別研究Ⅲ Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry III	指導教員
21	1期	2	植物生産科学基礎特論 Plant Production Science	コース教員
38	2期	2	植物生産科学特別講義 Special Lecture for Plant Production Science	コース教員
39	1-2期集中 intensive	2	植物生産科学特別演習 Seminar in Plant Production Science	コース教員

2. 選択必修科目 (Compulsory Elective)

以下の科目から4単位を修得すること (Four credits are required from the following subjects.)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
41	1-2期集中 intensive	2	植物生産科学実習 2 Practical training in Plant Production Science 2	コース教員
22	1期	2	畜産科学基礎特論 Animal Science	コース教員
23	1期集中 intensive	2	森林科学基礎特論 Forest Science	コース教員
24	1期	2	食料農業経済学基礎特論 Food and Agricultural Economics	田代正一
25	1期	2	食品科学基礎特論 Food Science	コース教員
26	1期	2	先端生命科学基礎特論 Advanced Life Science	コース教員
27	1期	2	微生物科学基礎特論 Microbiology	コース教員
28	夏期集中 intensive	2	生物環境科学基礎特論 Aquatic Biology	小針統、久米元、山本智子、遠藤光
29	1期	2	環境システム学基礎特論 Environmental System Science	コース教員
30	夏期集中 intensive	2	生物資源科学基礎特論 Aquatic Bioresource Science and Technology	コース教員
31	夏期集中 intensive	2	増養殖学基礎特論 Aquaculture	コース教員
32	1期	2	環境保全学基礎特論 Environmental and Conservation Sciences	コース教員
33	1期	2	水産流通・政策学基礎特論 Marketing and Management in Fisheries	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明

3. 修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	20 単位	
選択必修科目 (Compulsory Elective)	4 単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。 A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects.
選択科目 (Elective)	6 単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30 単位	

農林資源科学専攻 (Agriculture, Natural Resources and Forestry)
畜産科学コース (Animal Science)

1. 必修科目 (Compulsory Subjects)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
1	1期	2	食料生産における技術イノベーションと地域創生 Innovation in Food Production and Local Community Restructure	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則
2	1期	2	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅
34	1期集中 intensive	1	農林資源科学倫理特論 Research Ethics in Agriculture, Natural Resources and Forestry	指導教員
35	1期集中 intensive	3	農林資源科学特別研究Ⅰ Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry I	指導教員
36	2期集中 intensive	4	農林資源科学特別研究Ⅱ Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry II	指導教員
37	3期集中 intensive	2	農林資源科学特別研究Ⅲ Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry III	指導教員
22	1期	2	畜産科学基礎特論 Animal Science	コース教員
42	1-4期集中 intensive	2	畜産科学特別実験 Advanced Laboratory in Animal Science	コース教員
43	1-4期集中 intensive	2	畜産科学特別演習 Advanced Seminar in Animal Science	コース教員

2. 選択必修科目 (Compulsory Elective)

以下の科目から6単位を修得すること (Four credits are required from the following subjects.)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
21	1期	2	植物生産科学基礎特論 Plant Production Science	コース教員
23	1期集中 intensive	2	森林科学基礎特論 Forest Science	コース教員
24	1期	2	食料農業経済学基礎特論 Food and Agricultural Economics	田代正一
25	1期	2	食品科学基礎特論 Food Science	コース教員
26	1期	2	先端生命科学基礎特論 Advanced Life Science	コース教員
27	1期	2	微生物科学基礎特論 Microbiology	コース教員
28	夏期集中 intensive	2	生物環境科学基礎特論 Aquatic Biology	小針統、久米元、山本智子、遠藤光
29	1期	2	環境システム学基礎特論 Environmental System Science	コース教員
30	夏期集中 intensive	2	生物資源科学基礎特論 Aquatic Bioresource Science and Technology	コース教員
31	夏期集中 intensive	2	増養殖学基礎特論 Aquaculture	コース教員
32	1期	2	環境保全学基礎特論 Environmental and Conservation Sciences	コース教員
33	1期	2	水産流通・政策学基礎特論 Marketing and Management in Fisheries	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明

3. 修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	20 単位	
選択必修科目 (Compulsory Elective)	6 単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。 A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects.
選択科目 (Elective)	4 単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30 単位	

農林資源科学専攻 (Agriculture, Natural Resources and Forestry)
森林科学コース (Forest Management)

1. 必修科目 (Compulsory Subjects)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
1	1期	2	食料生産における技術イノベーションと地域創生 Innovation in Food Production and Local Community Restructure	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則
2	1期	2	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅
34	1期集中 intensive	1	農林資源科学倫理特論 Research Ethics in Agriculture, Natural Resources and Forestry	指導教員
35	1期集中 intensive	3	農林資源科学特別研究Ⅰ Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry I	指導教員
36	2期集中 intensive	4	農林資源科学特別研究Ⅱ Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry II	指導教員
37	3期集中 intensive	2	農林資源科学特別研究Ⅲ Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry III	指導教員
23	1期	2	森林科学基礎特論 Forest Science	コース教員
45	2期集中 intensive	2	森林科学特別実験 Advanced Experiment in Forest Science	コース教員
46	2期集中 intensive	2	森林科学特別演習 Advanced Seminar in Forest Science	コース教員

2. 修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	20 単位	
選択科目 (Elective)	10 単位	<p>示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。</p> <p>A designated number of credits can be counted in in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.</p>
計	30 単位	

農林資源科学専攻 (Agriculture, Natural Resources and Forestry)
 食料農業経済学コース (Food and Agricultural Economics)

1. 必修科目 (Compulsory Subjects)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
1	1期	2	食料生産における技術イノベーションと地域創生 Innovation in Food Production and Local Community Restructure	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則
2	1期	2	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅
34	1期集中 intensive	1	農林資源科学倫理特論 Research Ethics in Agriculture, Natural Resources and Forestry	指導教員
35	1期集中 intensive	3	農林資源科学特別研究Ⅰ Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry I	指導教員
36	2期集中 intensive	4	農林資源科学特別研究Ⅱ Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry II	指導教員
37	3期集中 intensive	2	農林資源科学特別研究Ⅲ Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry III	指導教員
24	1期	2	食料農業経済学基礎特論 Food and Agricultural Economics	田代正一
10	1-2期集中 intensive	8	地域創生・食産業マネジメントプログラム Program for Local Revitalization and Agri-Food Industry Management	李哉法、坂井教郎、豊智行、奥山洋一郎
52	1-4期集中 intensive	4	アグリフードビジネス特別演習 Advanced Seminar in Agri-Food Business	豊智行、坂井教郎、李哉法、田代正一、大住あずさ

2. 修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	28 単位	
選択科目 (Elective)	2 単位	<p>示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。</p> <p>A designated number of credits can be counted in in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.</p>
計	30 単位	

食品創成科学専攻 (Food Innovation Science)

食品科学コース (Food Science)

1. 必修科目 (Compulsory Subjects)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
1	1期	2	食料生産における技術イノベーションと地域創生 Innovation in Food Production and Local Community Restructure	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則
2	1期	2	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅
53	1期集中 intensive	1	食品創成科学倫理特論 Research Ethics in Food Innovation Science	指導教員
54	1期集中 intensive	3	食品創成科学特別研究 I Special Research in Food Innovation Science I	指導教員
55	2期集中 intensive	4	食品創成科学特別研究 II Special Research in Food Innovation Science II	指導教員
56	3期集中 intensive	2	食品創成科学特別研究 III Special Research in Food Innovation Science III	指導教員
25	1期	2	食品科学基礎特論 Food Science	コース教員
26	1期	2	先端生命科学基礎特論 Advanced Life Science	コース教員
27	1期	2	微生物科学基礎特論 Microbiology	コース教員
57	2期集中 intensive	2	食品科学特別講義 Special lecture for Food Science	コース教員
58	1期集中 intensive	2	食品科学特別演習 Seminar in Food Science	コース教員

2. 選択必修科目 (Compulsory Elective)

以下の科目から2単位を修得すること (Two credits are required from the following subjects.)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
21	1期	2	植物生産科学基礎特論 Plant Production Science	コース教員
22	1期	2	畜産科学基礎特論 Animal Science	コース教員
23	1期集中 intensive	2	森林科学基礎特論 Forest Science	コース教員
24	1期	2	食料農業経済学基礎特論 Food and Agricultural Economics	田代正一
28	夏期集中 intensive	2	生物環境科学基礎特論 Aquatic Biology	小針統、久米元、山本智子、遠藤光
29	1期	2	環境システム学基礎特論 Environmental System Science	コース教員
30	夏期集中 intensive	2	生物資源科学基礎特論 Aquatic Bioresource Science and Technology	コース教員
31	夏期集中 intensive	2	増養殖学基礎特論 Aquaculture	コース教員
32	1期	2	環境保全学基礎特論 Environmental and Conservation Sciences	コース教員
33	1期	2	水産流通・政策学基礎特論 Marketing and Management in Fisheries	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明

3. 修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	24 単位	
選択必修科目 (Compulsory Elective)	2 単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。 A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects.
選択科目 (Elective)	4 単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30 単位	

食品創成科学専攻 (Food Innovation Science)
 先端生命科学コース (Advanced Life Science)

1. 必修科目 (Compulsory Subjects)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
1	1期	2	食料生産における技術イノベーションと地域創生 Innovation in Food Production and Local Community Restructure	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則
2	1期	2	環境変動に対応した防災と持続的の一次産業 Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅
53	1期集中 intensive	1	食品創成科学倫理特論 Research Ethics in Food Innovation Science	指導教員
54	1期集中 intensive	3	食品創成科学特別研究 I Special Research in Food Innovation Science I	指導教員
55	2期集中 intensive	4	食品創成科学特別研究 II Special Research in Food Innovation Science II	指導教員
56	3期集中 intensive	2	食品創成科学特別研究 III Special Research in Food Innovation Science III	指導教員
25	1期	2	食品科学基礎特論 Food Science	コース教員
26	1期	2	先端生命科学基礎特論 Advanced Life Science	コース教員
27	1期	2	微生物科学基礎特論 Microbiology	コース教員
61	2期集中 intensive	2	先端生命科学特別講義 Special lecture for Advanced Life Science	コース教員
62	1期集中 intensive	2	先端生命科学特別演習 Seminar in Advanced Life Science	コース教員

2. 選択必修科目 (Compulsory Elective)

以下の科目から2単位を修得すること (Two credits are required from the following subjects.)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
21	1期	2	植物生産科学基礎特論 Plant Production Science	コース教員
22	1期	2	畜産科学基礎特論 Animal Science	コース教員
23	1期集中 intensive	2	森林科学基礎特論 Forest Science	コース教員
24	1期	2	食料農業経済学基礎特論 Food and Agricultural Economics	田代正一
28	夏期集中 intensive	2	生物環境科学基礎特論 Aquatic Biology	小針統、久米元、山本智子、遠藤光
29	1期	2	環境システム学基礎特論 Environmental System Science	コース教員
30	夏期集中 intensive	2	生物資源科学基礎特論 Aquatic Bioresource Science and Technology	コース教員
31	夏期集中 intensive	2	増養殖学基礎特論 Aquaculture	コース教員
32	1期	2	環境保全学基礎特論 Environmental and Conservation Sciences	コース教員
33	1期	2	水産流通・政策学基礎特論 Marketing and Management in Fisheries	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明

3. 修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	24 単位	
選択必修科目 (Compulsory Elective)	2 単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。 A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects.
選択科目 (Elective)	4 単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30 単位	

食品創成科学専攻 (Food Innovation Science)

焼酎発酵・微生物科学コース (Microbiology and Fermentation Technology)

1. 必修科目 (Compulsory Subjects)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
1	1期	2	食料生産における技術イノベーションと地域創生 Innovation in Food Production and Local Community Restructure	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則
2	1期	2	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅
53	1期集中 intensive	1	食品創成科学倫理特論 Research Ethics in Food Innovation Science	指導教員
54	1期集中 intensive	3	食品創成科学特別研究 I Special Research in Food Innovation Science I	指導教員
55	2期集中 intensive	4	食品創成科学特別研究 II Special Research in Food Innovation Science II	指導教員
56	3期集中 intensive	2	食品創成科学特別研究 III Special Research in Food Innovation Science III	指導教員
25	1期	2	食品科学基礎特論 Food Science	コース教員
26	1期	2	先端生命科学基礎特論 Advanced Life Science	コース教員
27	1期	2	微生物科学基礎特論 Microbiology	コース教員
63	2期集中 intensive	2	焼酎発酵・微生物科学特別講義 Special lecture for Microbiology and Fermentation Technology	コース教員
64	1期集中 intensive	2	焼酎発酵・微生物科学特別演習 Seminar in Microbiology and Fermentation Technology	コース教員

2. 選択必修科目 (Compulsory Elective)

以下の科目から2単位を修得すること (Two credits are required from the following subjects.)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
21	1期	2	植物生産科学基礎特論 Plant Production Science	コース教員
22	1期	2	畜産科学基礎特論 Animal Science	コース教員
23	1期集中 intensive	2	森林科学基礎特論 Forest Science	コース教員
24	1期	2	食料農業経済学基礎特論 Food and Agricultural Economics	田代正一
28	夏期集中 intensive	2	生物環境科学基礎特論 Aquatic Biology	小針統、久米元、山本智子、遠藤光
29	1期	2	環境システム学基礎特論 Environmental System Science	コース教員
30	夏期集中 intensive	2	生物資源科学基礎特論 Aquatic Bioresource Science and Technology	コース教員
31	夏期集中 intensive	2	増養殖学基礎特論 Aquaculture	コース教員
32	1期	2	環境保全学基礎特論 Environmental and Conservation Sciences	コース教員
33	1期	2	水産流通・政策学基礎特論 Marketing and Management in Fisheries	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明

3. 修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	24 単位	
選択必修科目 (Compulsory Elective)	2 単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。 A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects.
選択科目 (Elective)	4 単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30 単位	

環境フィールド科学専攻 (Field Environment Science)

生物環境科学コース (Aquatic Biological Science)

1. 必修科目 (Compulsory Subjects)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
1	1期	2	食料生産における技術イノベーションと地域創生 Innovation in Food Production and Local Community Restructure	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則
2	1期	2	環境変動に対応した防災と持続的の一次産業 Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅
65	1期集中 intensive	1	環境フィールド科学倫理特論 Research Ethics in Field Environment Science	指導教員
66	1期集中 intensive	3	環境フィールド科学特別研究Ⅰ Special Research on Field Environment Science I	指導教員
67	2期集中 intensive	4	環境フィールド科学特別研究Ⅱ Special Research on Field Environment Science II	指導教員
68	3期集中 intensive	2	環境フィールド科学特別研究Ⅲ Special Research on Field Environment Science III	指導教員
28	夏期集中 intensive	2	生物環境科学基礎特論 Aquatic Biology	小針統、久米元、山本智子、遠藤光
69	1期	2	生物環境科学特別講義 Special Lecture for Aquatic Biology	指導教員

2. 選択必修科目 a (Compulsory Elective a)

a) 以下の科目から4単位を修得すること (Four credits are required from the following subjects.)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
21	1期	2	植物生産科学基礎特論 Plant Production Science	コース教員
22	1期	2	畜産科学基礎特論 Animal Science	コース教員
23	1期集中 intensive	2	森林科学基礎特論 Forest Science	コース教員
24	1期	2	食料農業経済学基礎特論 Food and Agricultural Economics	田代正一
25	1期	2	食品科学基礎特論 Food Science	コース教員
26	1期	2	先端生命科学基礎特論 Advanced Life Science	コース教員
27	1期	2	微生物科学基礎特論 Microbiology	コース教員
29	1期	2	環境システム学基礎特論 Environmental System Science	コース教員
30	夏期集中 intensive	2	生物資源科学基礎特論 Aquatic Bioresource Science and Technology	コース教員
31	夏期集中 intensive	2	増養殖学基礎特論 Aquaculture	コース教員
32	1期	2	環境保全学基礎特論 Environmental and Conservation Sciences	コース教員
33	1期	2	水産流通・政策学基礎特論 Marketing and Management in Fisheries	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明

3. 選択必修科目 a (Compulsory Elective c)

c) 以下の科目から2単位を修得すること (Two credits are required from the following subjects.)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
44	2b 期集中 intensive	1	畜産科学特別実習 Practice in Livestock Farm	大島一郎
51	1-2 期集中 intensive	1	演習林特別実習 Advanced Practice in Experimental Forest	岡勝、井倉洋二
3	1-2 期集中 intensive	1	沿岸域乗船実習 (大学院) On-board Training in Coastal Area	幅野明正、寺田竜太、本村浩之、山本智子、中村啓彦、大富潤、吉川毅、小針統、久米元、安樂和彦、石崎宗周、江幡恵吾、西隆昭、山中有一、遠藤光、須本祐史、仁科文子、奥西将之
73	2 期集中 intensive	1	外洋域乗船実習 On-board Training of Oceanographic Observation	中村啓彦、小針統、仁科文子
74	1 期	2	フィールド計測実習 Practical Training for Field Measurement Methods and Instrumentation	肥山浩樹、靱井和朗、伊藤祐二、神田英司、平瑞樹

4. 修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	18 単位	
選択必修科目 a (Compulsory Elective a)	4 単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。 A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects.
選択必修科目 c (Compulsory Elective c)	2 単位	
選択科目 (Elective)	6 単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30 単位	

環境フィールド科学専攻 (Field Environment Science)

環境システム科学コース (Environmental System Science)

1. 必修科目 (Compulsory Subjects)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
1	1期	2	食料生産における技術イノベーションと地域創生 Innovation in Food Production and Local Community Restructure	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則
2	1期	2	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅
65	1期集中 intensive	1	環境フィールド科学倫理特論 Research Ethics in Field Environment Science	指導教員
66	1期集中 intensive	3	環境フィールド科学特別研究Ⅰ Special Research on Field Environment Science I	指導教員
67	2期集中 intensive	4	環境フィールド科学特別研究Ⅱ Special Research on Field Environment Science II	指導教員
68	3期集中 intensive	2	環境フィールド科学特別研究Ⅲ Special Research on Field Environment Science III	指導教員
29	1期	2	環境システム学基礎特論 Environmental System Science	コース教員

2. 選択必修科目 a (Compulsory Elective a)

a) 以下の科目から4単位を修得すること (Four credits are required from the following subjects.)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
21	1期	2	植物生産科学基礎特論 Plant Production Science	コース教員
22	1期	2	畜産科学基礎特論 Animal Science	コース教員
23	1期集中 intensive	2	森林科学基礎特論 Forest Science	コース教員
24	1期	2	食料農業経済学基礎特論 Food and Agricultural Economics	田代正一
25	1期	2	食品科学基礎特論 Food Science	コース教員
26	1期	2	先端生命科学基礎特論 Advanced Life Science	コース教員
27	1期	2	微生物科学基礎特論 Microbiology	コース教員
28	夏期集中 intensive	2	生物環境科学基礎特論 Aquatic Biology	小針統、久米元、山本智子、遠藤光
30	夏期集中 intensive	2	生物資源科学基礎特論 Aquatic Bioresource Science and Technology	コース教員
31	夏期集中 intensive	2	増養殖学基礎特論 Aquaculture	コース教員
32	1期	2	環境保全学基礎特論 Environmental and Conservation Sciences	コース教員
33	1期	2	水産流通・政策学基礎特論 Marketing and Management in Fisheries	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明

3. 選択必修科目 b (Compulsory Elective b)

b) 以下の科目から 2 単位を修得すること (Two credits are required from the following subjects.)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
70	2 期	2	解析学特別講義 Special Lecture for Mathematical Analysis	神田英司、中村啓彦、 靱井和朗
71	2 期	2	ICT・ロボット技術特別講義 Special Lecture for ICT and Robotics	須本祐史、西隆一郎、芝 山道郎、末吉武志、平瑞 樹

4. 選択必修科目 c (Compulsory Elective c)

c) 以下の科目から 2 単位を修得すること (Two credits are required from the following subjects.)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
44	2b 期集中 intensive	1	畜産科学特別実習 Practice in Livestock Farm	大島一郎
51	1-2 期集中 intensive	1	演習林特別実習 Advanced Practice in Experimental Forest	岡勝、井倉洋二
3	1-2 期集中 intensive	1	沿岸域乗船実習 (大学院) On-board Training in Coastal Area	幅野明正、寺田竜太、本 村浩之、山本智子、中村 啓彦、大富潤吉川毅、小 針統、久米元、安樂和彦、 石崎宗周、江幡恵吾、西 隆昭、山中有一、遠藤光、 須本祐史、仁科文子、奥 西将之
73	2 期集中 intensive	1	外洋域乗船実習 On-board Training of Oceanographic Observation	中村啓彦、小針統、仁科 文子
74	1 期	2	フィールド計測実習 Practical Training for Field Measurement Methods and Instrumentation	肥山浩樹、靱井和朗、伊 藤祐二、神田英司、平瑞 樹

5. 修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	16 単位	
選択必修科目 a (Compulsory Elective a)	4 単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。 A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects.
選択必修科目 b (Compulsory Elective b)	2 単位	
選択必修科目 c (Compulsory Elective c)	1 単位	
選択科目 (Elective)	7 単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30 単位	

水産資源科学専攻 (Fisheries Resource Science)

生物資源科学コース (Aquatic Bioresource Science and Technology)

1. 必修科目 (Compulsory Subjects)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
1	1期	2	食料生産における技術イノベーションと地域創生 Innovation in Food Production and Local Community Restructure	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則
2	1期	2	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅
75	1期集中 intensive	1	水産資源科学倫理特論 Research Ethics in Fisheries Resource Science	指導教員
76	1期集中 intensive	3	水産資源科学特別研究Ⅰ Special Research on Fisheries Resource Science I	指導教員
77	2期集中 intensive	4	水産資源科学特別研究Ⅱ Special Research on Fisheries Resource Science II	指導教員
78	3期集中 intensive	2	水産資源科学特別研究Ⅲ Special Research on Fisheries Resource Science III	指導教員
30	夏期集中 intensive	2	生物資源科学基礎特論 Aquatic Bioresource Science and Technology	コース教員
79	2期集中 intensive	2	生物資源科学特別講義 Special Lecture for Aquatic Bioresource Science and Technology	コース教員

2. 選択必修科目 (Compulsory Elective)

以下の科目から4単位を修得すること (Four credits are required from the following subjects.)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
21	1期	2	植物生産科学基礎特論 Plant Production Science	コース教員
22	1期	2	畜産科学基礎特論 Animal Science	コース教員
23	1期集中 intensive	2	森林科学基礎特論 Forest Science	コース教員
24	1期	2	食料農業経済学基礎特論 Food and Agricultural Economics	田代正一
25	1期	2	食品科学基礎特論 Food Science	コース教員
26	1期	2	先端生命科学基礎特論 Advanced Life Science	コース教員
27	1期	2	微生物科学基礎特論 Microbiology	コース教員
28	夏期集中 intensive	2	生物環境科学基礎特論 Aquatic Biology	小針統、久米元、山本智子、遠藤光
29	1期	2	環境システム学基礎特論 Environmental System Science	コース教員
31	夏期集中 intensive	2	増養殖学基礎特論 Aquaculture	コース教員
32	1期	2	環境保全学基礎特論 Environmental and Conservation Sciences	コース教員
33	1期	2	水産流通・政策学基礎特論 Marketing and Management in Fisheries	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明

3. 修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	18 単位	
選択必修科目 (Compulsory Elective)	4 単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。 A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects.
選択科目 (Elective)	8 単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30 単位	

水産資源科学専攻 (Fisheries Resource Science)

増養殖学コース (Aquaculture)

1. 必修科目 (Compulsory Subjects)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
1	1期	2	食料生産における技術イノベーションと地域創生 Innovation in Food Production and Local Community Restructure	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則
2	1期	2	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅
75	1期集中 intensive	1	水産資源科学倫理特論 Research Ethics in Fisheries Resource Science	指導教員
76	1期集中 intensive	3	水産資源科学特別研究Ⅰ Special Research on Fisheries Resource Science I	指導教員
77	2期集中 intensive	4	水産資源科学特別研究Ⅱ Special Research on Fisheries Resource Science II	指導教員
78	3期集中 intensive	2	水産資源科学特別研究Ⅲ Special Research on Fisheries Resource Science III	指導教員
31	夏期集中 intensive	2	増養殖学基礎特論 Aquaculture	コース教員
81	1期集中 intensive		増養殖学特別講義 Special Lecture for Aquaculture	コース教員
82	1-4期集中 intensive	2	増養殖学特別実習 Practical Training of Aquaculture	コース教員

2. 選択必修科目 (Compulsory Elective)

以下の科目から4単位を修得すること (Four credits are required from the following subjects.)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
21	1期	2	植物生産科学基礎特論 Plant Production Science	コース教員
22	1期	2	畜産科学基礎特論 Animal Science	コース教員
23	1期集中 intensive	2	森林科学基礎特論 Forest Science	コース教員
24	1期	2	食料農業経済学基礎特論 Food and Agricultural Economics	田代正一
25	1期	2	食品科学基礎特論 Food Science	コース教員
26	1期	2	先端生命科学基礎特論 Advanced Life Science	コース教員
27	1期	2	微生物科学基礎特論 Microbiology	コース教員
28	夏期集中 intensive	2	生物環境科学基礎特論 Aquatic Biology	小針統、久米元、山本智子、遠藤光
29	1期	2	環境システム学基礎特論 Environmental System Science	コース教員
30	夏期集中 intensive	2	生物資源科学基礎特論 Aquatic Bioresource Science and Technology	コース教員
32	1期	2	環境保全学基礎特論 Environmental and Conservation Sciences	コース教員
33	1期	2	水産流通・政策学基礎特論 Marketing and Management in Fisheries	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明

3. 修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	20 単位	
選択必修科目 (Compulsory Elective)	4 単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。 A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects.
選択科目 (Elective)	6 単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30 単位	

水産資源科学専攻 (Fisheries Resource Science)

環境保全学コース (Environmental and Conservation Sciences)

1. 必修科目 (Compulsory Subjects)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
1	1期	2	食料生産における技術イノベーションと地域創生 Innovation in Food Production and Local Community Restructure	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則
2	1期	2	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅
75	1期集中 intensive	1	水産資源科学倫理特論 Research Ethics in Fisheries Resource Science	指導教員
76	1期集中 intensive	3	水産資源科学特別研究Ⅰ Special Research on Fisheries Resource Science I	指導教員
77	2期集中 intensive	4	水産資源科学特別研究Ⅱ Special Research on Fisheries Resource Science II	指導教員
78	3期集中 intensive	2	水産資源科学特別研究Ⅲ Special Research on Fisheries Resource Science III	指導教員
32	1期	2	環境保全学基礎特論 Environmental and Conservation Sciences	コース教員
83	1期集中 intensive	2	環境保全学特別講義 Special Lecture for Environmental and Conservation Sciences	コース教員

2. 選択必修科目 (Compulsory Elective)

以下の科目から4単位を修得すること (Four credits are required from the following subjects.)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
21	1期	2	植物生産科学基礎特論 Plant Production Science	コース教員
22	1期	2	畜産科学基礎特論 Animal Science	コース教員
23	1期集中 intensive	2	森林科学基礎特論 Forest Science	コース教員
24	1期	2	食料農業経済学基礎特論 Food and Agricultural Economics	田代正一
25	1期	2	食品科学基礎特論 Food Science	コース教員
26	1期	2	先端生命科学基礎特論 Advanced Life Science	コース教員
27	1期	2	微生物科学基礎特論 Microbiology	コース教員
28	夏期集中 intensive	2	生物環境科学基礎特論 Aquatic Biology	小針統、久米元、山本智子、遠藤光
29	1期	2	環境システム学基礎特論 Environmental System Science	コース教員
30	夏期集中 intensive	2	生物資源科学基礎特論 Aquatic Bioresource Science and Technology	コース教員
31	夏期集中 intensive	2	増養殖学基礎特論 Aquaculture	コース教員
33	1期	2	水産流通・政策学基礎特論 Marketing and Management in Fisheries	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明

3. 修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	18 単位	
選択必修科目 (Compulsory Elective)	4 単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。 A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects.
選択科目 (Elective)	8 単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30 単位	

水産資源科学専攻 (Fisheries Resource Science)

流通・政策学コース (Marketing and Management in Fisheries)

1. 必修科目 (Compulsory Subjects)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
1	1期	2	食料生産における技術イノベーションと地域創生 Innovation in Food Production and Local Community Restructure	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則
2	1期	2	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅
75	1期集中 intensive	1	水産資源科学倫理特論 Research Ethics in Fisheries Resource Science	指導教員
76	1期集中 intensive	3	水産資源科学特別研究Ⅰ Special Research on Fisheries Resource Science I	指導教員
77	2期集中 intensive	4	水産資源科学特別研究Ⅱ Special Research on Fisheries Resource Science II	指導教員
78	3期集中 intensive	2	水産資源科学特別研究Ⅲ Special Research on Fisheries Resource Science III	指導教員
33	1期	2	水産流通・政策学基礎特論 Marketing and Management in Fisheries	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明
84	1期集中 intensive	2	水産流通・政策学特別講義 Special Lecture for Marketing and Management in Fisheries	コース教員

2. 選択必修科目 (Compulsory Elective)

以下の科目から4単位を修得すること (Four credits are required from the following subjects.)

科目番号 No.	期 Term	単位 Credits	科目名 Subject	担当者 Lecturer
21	1期	2	植物生産科学基礎特論 Plant Production Science	コース教員
22	1期	2	畜産科学基礎特論 Animal Science	コース教員
23	1期集中 intensive	2	森林科学基礎特論 Forest Science	コース教員
24	1期	2	食料農業経済学基礎特論 Food and Agricultural Economics	田代正一
25	1期	2	食品科学基礎特論 Food Science	コース教員
26	1期	2	先端生命科学基礎特論 Advanced Life Science	コース教員
27	1期	2	微生物科学基礎特論 Microbiology	コース教員
28	夏期集中 intensive	2	生物環境科学基礎特論 Aquatic Biology	小針統、久米元、山本智子、遠藤光
29	1期	2	環境システム学基礎特論 Environmental System Science	コース教員
30	夏期集中 intensive	2	生物資源科学基礎特論 Aquatic Bioresource Science and Technology	コース教員
31	夏期集中 intensive	2	増養殖学基礎特論 Aquaculture	コース教員
32	1期	2	環境保全学基礎特論 Environmental and Conservation Sciences	コース教員

3. 修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	18 単位	
選択必修科目 (Compulsory Elective)	4 単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。 A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects.
選択科目 (Elective)	8 単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30 単位	

4. 履修の方法と注意

Methods to Study and Important Points

4. 履修の方法と注意

本研究科の教育課程は、基本カリキュラムに加えて、希望者が選択できる熱帯水産学国際連携履修プログラム及び食品管理技術者教育プログラム、希望する留学生を対象とした留学生プログラムで構成されている。研究科の教育は、学生の研究の指導と授業科目の履修による学修で構成されている。研究科修了には、修了要件に算入される授業科目の履修により 30 単位を修得すると共に、研究指導を受け修士研究論文試験に合格する必要がある。

研究指導は、1名の主指導教員及び2名の副指導教員によって行われる。授業科目はその目的と内容に応じて以下のように区分される。

研究科共通科目：研究科共通の内容を教授する講義科目である。

研究科実験実習科目：研究科共通の内容を学ぶ実験実習科目であり、全コースの学生が受講することを前提としている。

キャリア実践科目：実務能力を向上させるための科目である。

専攻共通科目：専攻で共通した知識や研究手法を身につけるための科目である。

基礎特論：各コースの教育内容の基礎を教授する講義科目であり、他コースの学生の受講を前提としている。

コース独自科目：各コースの専門的内容を教授する講義科目であり、コースに所属する学生が受講することを前提としている。

コース実験実習科目：各コースの専門分野が扱う技術を身につけるための実験実習科目であるが、他コースの学生の受講を前提とした科目もある。

留学生プログラム科目：留学生プログラムに登録した留学生を対象とした講義科目であるが、日本人学生も受講できる。

各科目は、コース毎に必修科目、選択必修科目、選択科目、自由科目に指定され、特定の学生以外に受講を認められない科目もある。選択必修科目とは、指定された科目群からコースで示された単位数以上を履修すべきもの、選択科目とは、指定された科目群から一定の単位以内であれば卒業要件として認められるものであり、自由科目は卒業要件に含まれない科目である。詳細は所属するコースの「履修課程表」及び「科目一覧」を確認すること。

2年間の研究及び科目履修を合理的で実りあるものにするためには、研究科修了後の就職、進学等を勘案し、入学時に2年間の履修計画を立てることが望ましい。プログラムの履修も含めて指導教員と十分に話し合っ て決める必要があるが、履修規則を熟読し自らの責任で学修することを忘れてはならない。

熱帯水産学国際連携履修プログラム

本研究科が連携している海外の大学で授業科目を履修、単位を取得させることで、グローバル人材の育成を目指す教育課程であり、本研究科の修了要件に加えてプログラムの修了要件がある（5. 熱帯水産学国際連携履修プログラムを参照）。海外の大学での学修への支援では、本プログラムの学生が優先される。留学生プログラムとの重複登録

はできない。

食品管理技術者教育プログラム

食品安全に関わる専門人材の育成に取り組むもので、社会人向けの履修証明プログラムである食品管理技術者養成コースと同時に開講される。この教育プログラムで開講される科目は本研究科の修了要件には含まれない。また、授業は夜間や土日に開講されることに留意すること。なお、本プログラム修了者には、教育プログラム修了証と食品安全マネジメント協会の修了証を授与する(6. 食品管理技術者教育プログラムを参照)。日本語での教育を原則としている。

留学生プログラム

外国人留学生を対象とし、専門知識及び技術のすべてを英語又は日英両語で開講される科目の履修と研究指導のみで修得し研究科の課程を修了することができるよう、いくつかの特別措置を含めて学修の便を図るための教育課程である(「7. 留学生プログラム」を参照)。希望した留学生のみが履修できる。

ダブル・ディグリープログラム

大学間協定に基づいた単位互換制度を活用して、本学に在籍したまま海外の大学に一定期間留学し、本学及び留学先の修了要件をそれぞれ満たすことで、双方の大学から学位(修士)を得ることができる教育プログラムである。詳細については、留学先毎に定められた学生募集案内を参照すること。

開講期

本研究科では、クォーター制(学期を前半と後半(それぞれ a、b と呼ぶ)に分けて運用する制度)を採用している。2クォーター以上連続で開講されるものもある。履修方法と調査・研究計画の調整については、指導教員と十分に相談すること。

また、国際連携による研究科熱帯水産学プログラム(ILP)の短期受け入れ学生や留学生も交え、本研究科学生に外国人学生と共に学び合う機会を提供しグローバル化を体感できるように、サマーセッション(S.S.)を設けている。この期間の科目は夏期集中科目として扱われるので、定められた期間に履修登録すること。

英語で開講する科目

専門的知識を英語で運用する能力を開発するために、いくつかの科目は英語で開講する。これらの科目は、短期受け入れ学生や留学生の専門知識・技術の修得のための科目も兼ねているので、教室では外国人学生と共に学ぶこととなる。

指導教員と研究課題の登録

入学時に、主指導教員が作成した指導計画書を提出し、主指導教員1名、副指導教員2名及び修士研究の課題名を登録する。作成にあたっては、主指導教員と学生の間で研究計画と履修計画について十分相談すること。なお、在学中に指導教員を変更する場合は、変更届を提出する必要がある。

履修登録

本研究科の指定する期間内に、受講届（Web 登録）により履修する授業科目を登録しなければならない。時間割上の一つの時間帯には一科目しか登録できないが、集中科目については時間割に係らず履修登録ができる。登録に際しては各科目のシラバスを熟読すること。

各学期の登録単位数の上限

完了要件に算入される単位数及びその他の必修科目の単位数として、各学期に登録できる授業科目の合計単位数は、16 単位を限度とする。ただし、サマーセッションに開講する科目、集中開講科目及び随時開講科目の単位数はこの限度に算入しない。

履修登録の変更等

履修登録の変更及び追加は、履修規則に定められている期間にのみ認められる。ただし、定員等の関係で追加登録が認められない場合もあるので、十分に注意すること。

履修規則に定められた条件を満たす場合、履修登録を取り消すことができる。ただし、集中講義の履修登録を取り消したい場合は日程公示後 3 週間以内、かごしま丸による乗船実習科目の履修登録を取り消したい場合は説明会后 1 週間以内に願い出なければならない。

熱帯水産学国際連携履修プログラムにおける履修登録の変更については「5. 熱帯水産学国際連携履修プログラム」を参照のこと。

他研究科等の授業科目の履修

他の研究科等の授業科目の履修については、定められた手続きにより履修することができる。履修を希望する場合は、指導教員と相談の上学生係に申し出ること。修得した授業科目は、主指導教員が認めた場合に限り選択科目とみなすことができ、それ以外は自由科目となる。

随時開講科目等に関する連絡

乗船実習科目等、開講時期が明示されていない授業科目に関する情報等は、基本的に AGRI-FISH-WEB を通じて通知するので、入学直後にメールアドレス及び携帯電話番号などの学生情報を必ず登録すること。休講情報、開講日時の変更、実験・実習の集合場所等の授業情報も、AGRI-FISH-WEB を通じてメールで配信される。

社会人入学者の履修

社会人入学者に対しては、必要に応じて、夜間その他特定の時間や時期の授業開講や研究指導、特別な授業開講方式が認められる。学生と主指導教員及び授業担当教員が十分相談の上、指導計画書にその内容を記載すること。

4. Methods to Study and Important points

The curriculum of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University (hereinafter, referred to as the ‘School’) is composed of the Basic Curriculum; International Linkage Programme on Tropical Fisheries and the Education Programme for Food Management Expert, both of which are optional for students who wish to enroll in them; and the Foreign Student Programme which is designed specially for overseas students. The education in the School is performed by supervision of student research and course work covered in the subjects offered in the programme. In order to graduate from the School, students must be awarded 30 credits from subjects which are categorised as required for graduation and they must pass the examination on the master thesis after being supervised on their research.

The student research is supervised by one main supervisor and two co-supervisors for each student.

Subjects are categorised as follows, depending on the purpose and content:

General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries: This subject covers the common contents of all Courses of the School.

Experiment and Practical Training: This training covers the content common to all Courses of the School.

Business Skills: This subject aims at developing practical skills.

Thesis Research: This subject covers the knowledge and research methods needed for completing the Master’s research.

Basic Lecture: This subject covers the basics of the educational contents of each course. This lecture is for not only students in each course but also those in other courses.

Lectures for Course Students: They match the specialized content of each course. These lectures are mainly for students registered in each course.

Experiment and Practical Training for Course Students: This training focuses on experiments and on-board training so students can obtain skills dealing with the specialized fields of each course. Some are opened for students registered in other courses.

Lecture for Foreign Students: This lecture is for foreign students registered in the Foreign Student Programme and lectured in English, though Japanese students might join.

Subjects of each Course are categorised into “compulsory”, “compulsory elective”, “elective” and “non-credit” subjects. Some subjects are open only to specific students. “Compulsory

elective subjects” are chosen by students from a group of designated subjects to obtain credits required by the course. “Elective subjects” are a group of subjects which are counted, up to the designated limit, towards the credits required for graduation. “Non-credit subjects” carry credits which are not included in the number of credits required to graduate. For details, refer to the Curriculum Guide and List of Subjects of the Course.

In order to make the research and course work conducted over two years rational and fruitful, students need to develop a plan upon entry into the School, considering their future career or the graduate school they wish to enroll after graduation. Registration in the Programme should also be decided on after sufficient discussion with their supervising teaching staff; however, students themselves are held responsible for following the Curriculum and Registration Rules.

International Linkage Programme on Tropical Fisheries

This curriculum aims to develop globally-capable personnel through allowing students to take subjects and award credits offered by overseas universities with which the School possesses linkages. There are requirements to complete the programme in addition to the requirements to graduate from the School (refer to section 5: International Linkage Programme on Tropical Fisheries). Students in the programme are given priority for receiving support to study at universities overseas. Double registration into this programme and the Foreign Student Programme is not permitted.

Education Programme for Food Management Expert

This curriculum aims to develop experts specialised in food safety. It is offered together with the Training Course for Food Management Expert, which is a course certification programme designed for refreshers. The subjects taught under this programme are not counted in the requirements for graduation. Also note that classes are later than 18:00 or on weekends. Students who have completed this programme will be awarded a certificate of completion of the programme and a certificate of completion issued by the “Japan Food Safety Management Association” (Refer to section 6). In principle, education is only given in the Japanese.

Foreign Student Programme

This curriculum is optional for foreign students who wish to enroll it and includes some special arrangements in order to let them obtain professional knowledge and expertise by taking subjects and research supervision in English, or combining both English and Japanese (refer to

section 7: Foreign Student Programme). This programme is exclusively limited to foreign students.

Double Degree Programme

Utilizing a credit transfer system based on inter-university agreements, the Double Degree Program is an educational program which makes it possible for students to study at an overseas university for a certain period of time while enrolled in Kagoshima University and meet the requirements for completion of both Kagoshima University and the overseas university so that they can obtain a master's degree from both universities.

For more information, please refer to the student recruitment guide of the overseas university to which application will be made.

Academic Calendar

The School runs its academic calendar on a quarter system (each semester is divided into first and second halves (referred to as “a” and “b” respectively)). Some subjects are offered over two consecutive quarters. Students are strongly recommended to discuss sufficiently with their supervisor regarding the arrangement of the required subjects and other surveys/research activities.

In addition, the faculty provides a system of Summer Sessions (S.S.) designed to let students experience globalisation by providing them with opportunities to study in collaboration with students from overseas in the “International Linkage Programme (ILP) on Tropical Fisheries” visiting Kagoshima on a short-term basis, and long-term visiting students from various countries. Intensive classes are given in the summer course. Students should register during a designated period.

Subjects Taught in English

In this School, some subjects are taught in the English in order to develop students' capability to understand specialty knowledge and develop English skills. These subjects are also for short-term students and foreign students trying to gain professional knowledge and expertise. Therefore, students from multiple countries study together in the same classroom.

Registration of Supervisors and Research and Study Plan

A student should, upon entry to the School, submit a supervision for research and study plan prepared by the main supervisor, to register the names of one main and two co-supervisors and decide the topic of research. In doing so, the main supervisor and student should discuss sufficiently about the research plan and decide the working schedule. A student should, when changing supervisor(s), report the change.

Registration of Subjects

A student should, during the period designated by the School, register (Web-registration) for the required subjects. Only one subject can be registered in each cell in the course work timetable; however, intensive subjects can be registered with no respect to the timetable. Read the syllabus of subjects carefully prior to registration.

Maximum Number of Credits of Registered in One Semester

With respect to the required subjects for graduation and other compulsory subjects, the maximum number of credits that a student may register for in one semester must not exceed 16 credits. However, the credits from subjects conducted during the summer session, intensive subjects and other occasional subjects are excluded from this limitation.

Change of Registered Subject and other matters

Changes or additions of registered subjects is only permitted during the period stipulated in the “Curriculum and Registration Rules”. However, students must be careful because if the maximum number of students permitted in a class has been filled, additional registrations may not be accepted.

Withdrawal of Registered Subject is possible when the conditions provided in the “Curriculum and Registration Rules” are satisfied. However, in the case of withdrawal from intensive subjects, the student should report the withdrawal within 3 weeks after the public notice of the schedule, while in the case of withdrawal from registrations to on-board training subjects, the student should report the withdrawal within 1-week after the guidance meeting.

With respect to the change in registration to subjects in the International Linkage Programme on Tropical Fisheries, refer to the section 5: International Linkage Programme on Tropical Fisheries.

Registration of Subjects Offered by Other Schools

Students may take subjects offered by other postgraduate schools in accordance with the procedure provided separately. A student who desires to do so should report to the Student Affairs Division of the Administration Department and get advice from the supervisors. The subject taken as above is a “non-credit subject”. A subject may, however, be assumed to be an “elective subject”, if the concerned student took that subject with approval of the main supervisor.

Information Relevant to Occasional Subjects and Other Matters

Information regarding subjects not shown in the class timetable, such as “on-board training”, is provided through the ‘Agri-Fish-web’ HP. Students should register and input their student information, such as e-mail address and mobile-phone number upon enrolment in the School. Information regarding the classes, such as cancellation, change in date and time, change in location for the experiment/practical classes, etc., is also provided through the ‘Agri-Fish-web’ HP.

Special measures for working students

Working student may benefit from flexible scheduling of course work and research supervision in terms of the time of the day or time of the year, or make special arrangements for their course work. The student, the main supervisor and the teaching staff should discuss the matter thoroughly and state the outcome of this arrangement in the supervision plan.

5. 熱帯水産学国際連携履修プログラム

5. 熱帯水産学国際連携履修プログラム

本履修プログラムは、本研究科の学生が、アジアの複数の大学により開設された Postgraduate (Master) Programme on Tropical Fisheries with International Linkage (国際連携による研究科熱帯水産学プログラム、以下、ILP という) の下で学修するために設けたものである。ILP は、これを構成する研究科がそれぞれ特徴のある科目を提供し、それらを共有することで、構成研究科の学生に質の高い教育を提供し、グローバル化が進む水産業や社会に貢献できる知識・技術と意思を持った人材を育成するために設けた、国際的な枠組みである。構成研究科は、本研究科と、ボゴール農科大学水産・海洋科学研究科 (インドネシア)、サムラトランギ大学水産・海洋科学研究科 (インドネシア)、マレーシアトレンガヌ大学水産・養殖科学研究科 (マレーシア)、フィリピン大学ビサヤス校水産・海洋科学研究科、カセサート大学水産学研究科 (タイ)、ニャチャン大学研究科 (ベトナム) である。

本研究科の熱帯水産学国際連携履修プログラム (以降、履修プログラムという) に登録した学生は、ILP の下で、受講料等の経済的負担を負うことなく、構成研究科によって提供される科目を自由に履修し、構成研究科の学生と同等で同質の教育を受け、単位を取得することができる。定められた履修プログラムの修了要件を満たして本研究科を修了した場合、修士の学位に加えて、ILP 修了証書が授与される。

本履修プログラムの学修は、ILP 共通規則に加えて、本研究科履修規則及びそれに基づいて定められた熱帯水産学国際連携履修プログラム履修細則に則って行われる。ただし、海外での学修に関しては、国による高等教育制度の差異のために、授業や指導の方法が異なる場合がある。各構成校での学修や生活に関する情報は、別途用意された ‘Guidance to Students to Study at the Member Schools under the Postgraduate (Master) Programme on Tropical Fisheries with International Linkage (ILP)’ に説明されている。構成校が提供する科目の履修については、ガイダンスを熟読の上、指導教員の指導を十分に受けて決定することが望ましい。

5.1 履修プログラム履修上の注意

履修プログラム登録の届け出

本履修プログラムでの学修を希望する学生は、履修プログラムに登録しなければならない。希望者は、主指導教員の指導を受けて、入学手続き時に履修プログラム登録希望届を提出しなければならない。履修プログラムの定員は 10 名とする。希望者が定員を上回った場合は、入学者選抜試験の成績上位者から登録を受け付ける。なお、登録に漏れた学生は、本人が希望する場合、補欠者として希望届を留保することができる。

履修プログラムの修了要件

履修プログラムに登録した学生は、本研究科履修規則に従うほか、熱帯水産学国際連携履修プログラム履修細則に従って学修し、プログラムに提供された科目から 12 単位以上を修得する必要がある。このうち、少なくとも 6 単位は「Guidance to Students to Study at the Member Schools under the Postgraduate (Master) Programme on Tropical Fisheries with International Linkage (ILP)」に示す本研究科以外の構成研究科から提供された科目を修得しなければならない。「Guidance to Students to Study at the Member Schools under the Postgraduate (Master) Programme on Tropical Fisheries with International Linkage (ILP)」は更新されることがあるため、最新版は本研究科

ホームページで確認すること。

構成大学が提供する科目の履修登録

構成大学が提供する科目を履修する場合は、本研究科開講科目と同様に、履修する学期の定められた期間に履修登録を行わなければならない。ただし、渡航手続き等のために、上記より早く履修の希望を調査する場合がある。

構成大学が提供する科目の履修登録は、取り下げることにはできない。各構成研究科の学期制度が異なることから、構成研究科が提供する科目を履修できる時期は限られている。したがって、別途配付するガイダンスを参照しつつ、指導教員及び本履修プログラム担当教員の指導を受けて、履修計画を立てる必要がある。

修士論文

本履修プログラムの学生は、主指導教員の指導に従い、「Guidance to Students to Study at the Member Schools under the Postgraduate (Master) Programme on Tropical Fisheries with International Linkage (ILP)」に示す本研究科以外の構成研究科教員一人を第一または第二副指導教員とし、修士論文研究の指導を受けることができる。

海外での学修への支援

本履修プログラムに登録した学生は、本研究科以外の構成研究科から提供され海外で開講される科目を、別に定める履修登録期間に履修登録を行ない履修する場合、渡航費（別に定める航空運賃及び宿泊費）の半額を上限として、経済的な支援を受けることができる。ただし、入学者選抜試験又は入学後の成績が不十分な場合又は定められた履修登録期間以外に履修登録を行った場合、上記の支援の一部又は全部を受けられないことがある。

ILP 構成校で約1ヶ月の学修を行う場合、渡航手続き開始時に航空運賃及び宿泊費を一旦支払う必要があるため、履修プログラム登録希望者は十分に留意し費用を用意しておく必要がある。渡航費用含む詳細は、ガイダンスなどを通じて案内する。

履修プログラム登録の取り下げ、取り消しと追加登録

本履修プログラムに登録した学生が、本履修プログラムに則った履修を放棄したい場合は、登録を取り下げなければならない。また、本履修プログラムを修了するのに必要な科目を履修していないと認められた場合や構成校が開講する科目の履修を放棄した場合等は、登録を取り消される場合がある。

履修プログラム登録を取り下げたり取り消された場合でも、本研究科の修了要件を満たせば、その修了には影響しない。それらの場合、他の構成研究科提供科目の履修により修得した単位は、研究科履修規則に定める他大学の大学院における授業科目の履修による単位として扱われる。

履修プログラム定員に不足が生じた場合、希望に従い、補欠者の上位者から履修プログラムへの追加登録者とする。

履修プログラムと留学生プログラムの重複登録の禁止

本履修プログラムと留学生プログラムの両方に登録することはできない。

5.2 農林水産学研究科が開講する履修プログラムの指定科目

本研究科が開講する履修プログラムの指定科目を以下に示す。

期	科目分類	科目名 ¹⁾	単位
夏期集中	基礎特論	生物環境科学基礎特論 Aquatic Biology	2
夏期集中	基礎特論	生物資源科学基礎特論 Aquatic Bioresource Science and Technology	2
夏期集中	基礎特論	増養殖学基礎特論 Aquaculture	2
2期	留学生 プログラム	Technology, Sustainable Food and Agriculture: The Synergy	2
1期	基礎特論	水産流通・政策学基礎特論 Marketing and Management in Fisheries	2
1期	基礎特論	環境保全学基礎特論 Environmental and Conservation Sciences	2
1期	留学生 プログラム	Fisheries & Fisheries Sciences	2
夏期集中	(受講不可) ²⁾	機器分析実習 BCH Latest Analytical and Experimental Methods (Biochemistry)	1
夏期集中	(受講不可) ²⁾	機器分析実習 BBI Latest Analytical and Experimental Methods (Basic Biology)	1
夏期集中	(受講不可) ³⁾	機器分析実習 (オープン) Latest Analytical and Experimental Methods (Open)	1
2期集中	コース 実験実習	外洋域乗船実習 On-board Training of Oceanographic Observation	1
2期集中	コース 実験実習	資源・計測乗船実習 On-board Training of Resources and Measurement Techniques	1
1～4期 集中	研究科実験実習	沿岸域乗船実習 (大学院) On-board Training in Coastal Area	1
1b期 集中	キャリア実践	Tropical Fisheries	2

1) 日英両言語での科目名が示されている科目は、日本語と英語両方の言語で授業が行われる。英語のみの科目名が示されている科目は、英語のみで授業が行われる。

2) 本研究科を除く ILP 構成研究科の学生向けに開講される。本研究科の学生は履修できない。

6. 食品管理技術者教育プログラム

6. 食品管理技術者教育プログラム

食品産業界では食品安全管理・品質管理の高度化が必要不可欠な状況となっており、日本の食品産業の発展及び国際競争力強化のためには、食品安全に関わる専門人材の育成が急務となっている。本プログラムはこのような情勢の中、国際標準の食品安全や品質管理に関する取り組みを取り込んだ食品安全専門人材を育成するために、農林水産省、日本マクドナルド株式会社、一般財団法人 日本食品マネジメント協会、三菱総合研究所、鹿児島県が協働し設けたものである。

本プログラムは社会人向けの履修証明プログラムである「食品管理技術者養成プログラム」と同時に開講される。そのため、開講される曜日や時限は通常の授業と異なり、土日や平日6限以降となる。受講を希望する者は、主指導教員と相談し、研究の遂行に支障がないように受講計画を立てること。なお、本プログラムの開講科目は修士課程修了要件には含まれない。

本プログラムの指定科目(表6-1)を全て履修し単位を修得した学生は、本研究科修了時に申請することにより、修士の学位に加えて「食品管理技術者教育プログラム修了証明証」が授与される。また、本教育プログラムは一般財団法人 食品安全マネジメント協会認定の教育機関として、「食品安全基礎コース」、「監査コース」の内容を含み、修了者には食品安全マネジメント協会認定の修了証を有料(発行手数料)で授与する。

6. 1 教育プログラム履修上の注意点

教育プログラムの履修申請

本教育プログラムは1年単位のスケジュールで進行するため、受講を希望する者は履修申請を前期に行わなければならない。卒業した学部によっては受講しなくてもよい科目があるので表6-1の食品管理技術者教育プログラム指定科目で確認すること。

教育プログラムの修了要件

本プログラムを受講する学生は、表6-1の左欄の区分に基づいて、それぞれ同表の右欄に掲げる科目を履修し単位を修得しなければならない。

表6-1. 食品管理技術者教育プログラム指定科目

基礎となる事項	農林水産学研究科で修得すべき指定科目						
	マクドナルドサプライチェーン品質・安全特論	食品産業国際規格論	食品安全特論	食品産業監査特論	食品加工論	食品環境測定論	食品衛生論
	1単位	1単位	2単位	1単位	1単位	1単位	1単位
食品衛生監視員の資格要件の保有者 ※1	○	○	○	○	—	—	—
大学の農学系学部において右記の科目を修得した者	植物・動物性の食品・食材に関する科目 ※2	○	○	○	○	—	○
	食品を扱う上で必要な測定スキルに関する各種実験科目 ※2	○	○	○	○	○	—
	微生物危害に関する科目 ※2	○	○	○	○	○	—
上記以外の者	○	○	○	○	○	○	○

- 備考 1. 表中の○印は必修、—印は受講の必要はないものを示す。なお、大学の農学系学部において修得した科目区分が複数の場合はそれぞれの区分を併せて適用することができる。
2. ※1の食品衛生監視員の資格要件の保有者とは、食品衛生法の特定課程で所定の科目(平成16年2月27日付、食安発第0227003号 厚生労働省医薬食品局食品安全部長通知)を修得している者及び食品衛生法の養成施設の認定を受けている課程において所定の科目を修得している者を指す。
3. ※2の植物・動物性の食品・食材に関する科目、食品を扱う上で必要な測定スキルに関する各種実験科目及び微生物危害に関する科目並びに修得すべき単位数については、表6-2に示すとおりである。
4. ※2の科目と同等と認められる科目については、学生からの申請に基づき審査し、同等と認めることがある。ただし、申請は、履修申請開始の7日前までに成績証明書及びシラバスを添えて申請したものに限る。

表6-2

区 分	科 目 名 等	単位数
植物・動物性の食品・食材に関する科目	「植物性食品学」、「動物性食品学」、「水産物利用学」	2単位
食品を扱う上で必要な測定スキルに関する各種実験科目	「基礎化学実験」、「食品分析化学実験」、「食品生化学実験」、「微生物学実験」、「環境物理学実験」、「品質管理システム学」、「食品プロセス学」、「食品プロセス学実習」、「食品科学基礎実験」、「食品工学実験・実習」、「食品衛生学実験」、「資源利用化学実験」、「生物化学実験」	2単位
微生物危害に関する科目	「食品衛生学」、「公衆衛生学」	2単位

修了証等の発行

本教育プログラムの修了証明書の授与を希望する学生は、鹿児島大学大学院農林水産学研究科「食品管理技術者教育プログラム」修了証明書発行申請書により研究科長に申請しなければならない。修了証明書は、本研究科の修了時に授与する。

7. 留学生プログラム Foreign Student Programme

7. 留学生プログラム

留学生プログラムは、海外からの留学生を対象に、本研究科課程修了に必要なすべての学修を英語で行うことができるように設けたものである。日本語で教授される必修科目に代えて英語の必修科目を開講するなどいくつかの特別措置を設け、学修の便を図るものである。以下の留学生プログラム履修課程及び科目一覧を参照し、主指導教員の指導の元、履修計画を作成すること。

なお、本プログラムについて定められた特別措置のほか、就学の基本に関することは本研究科履修規則に従うので、それらを十分に理解する必要がある。留学生でも、本プログラムに登録しない場合は本研究科の基本カリキュラムのみに従って日本語を主な使用言語とした教育を受けることになる。

7.1 留学生プログラム履修課程

必修科目

以下の14単位を全て取得する。

Technology, Sustainable Food and Agriculture: The Synergy	2 単位 (英語開講)
Fisheries & Fisheries Sciences	2 単位 (英語開講)
専攻共通科目 倫理特論	1 単位 (日英開講)
専攻共通科目 特別研究 I	3 単位 (日英開講)
専攻共通科目 特別研究 II	4 単位 (日英開講)
専攻共通科目 特別研究 III	2 単位 (日英開講)

選択科目

「9. 科目一覧」に示されている選択科目 (英語又は日英開講) から 16 単位を取得する。科目一覧に附記されている注意事項をよく読むこと。

7.2 プログラム履修上の注意

プログラムへの登録

本課程に沿って学修する留学生は、入学時にプログラムに登録しなければならない。本プログラムには定員は設けない。

プログラム登録の取り下げ

本プログラムに登録した留学生が、プログラム登録を取り下げを希望する場合は、すみやかに届け出なければならない。なお、Ⅲ期の履修登録確定以降のプログラム登録の取り下げは原則として認められない。登録を取り下げた場合は、上記の特別措置はうけられなくなるので、注意すること。

プログラムと熱帯水産学国際連携コースの併願の禁止

本プログラムと熱帯水産学国際連携コースの両方に登録することはできない。

7. Foreign Student Programme

This programme is specifically prepared to enable foreign students to fulfil all the requirements to complete the Master's course of this School through studies conducted only in English. To this end, special arrangements have been made, including offering some compulsory subjects in English. Refer to the following curriculum and "List of Subjects" to prepare the course work schedule under the guidance of the main supervisor.

It is strongly noted, however, that the Curriculum and Registration Rules of the School shall be applied to basic matters relevant to enrolment, registration, credits, research, graduation requirements etc. in the School, except as stated in the special arrangements explained herewith for foreign students. It must be also noted that foreign students who do not register for this Programme shall study mainly in Japanese in accordance to the standard curriculum of the School.

7.1 Curriculum for the Foreign Student Programme

Compulsory Subjects

Students must be awarded all the 14 credit points listed below.

(unit: credits)

Technology, Sustainable Food and Agriculture: The Synergy	2 (in English)
Fisheries & Fisheries Sciences	2 credits (in English)
Thesis Research Advanced Ethics	1 credit (in Japanese & English)
Thesis Research Special Study I	3 credits (in Japanese & English)
Thesis Research Special Study II	4 credits (in Japanese & English)
Thesis Research Special Study III	2 credits (in Japanese & English)

Elective Subjects

Students must be awarded the 16 credit points in the form of "elective subjects" (taught in English or Japanese & English) are shown in "List of Subject".

Reading through the notes added to the List of Subjects is strongly suggested.

7.2 Advice for Registration into the Programme

Registration for the Foreign Student Programme

All foreign students who study in this Programme shall register upon enrolment into the School. There is no limitation on the number of students joining the Programme.

Withdrawal from the Foreign Student Programme

When a student registered for the Foreign Student Programme wants to withdraw from the Programme, promptly notifying the School is required. Withdrawal from the Programme after the confirmation of registration of subjects offered in Semester III is not permitted. It must be noted that the stated special arrangements shall not apply to students who withdraw.

Prohibition of Double registration into the “Foreign Student Programme” and “International Linkage Programme (ILP) in Tropical Fisheries”

Double registration into the Foreign Student Programme and the International Linkage Programme on Tropical Fisheries is not be permitted.

8. ダブル・ディグリープログラム Double Degree Programme

8. ダブル・ディグリープログラム

ダブル・ディグリープログラムとは、本学に在籍したまま一定期間、海外の大学に留学し、双方の大学の修了要件を満たすことで、両大学の学位(修士)を得ることができる教育プログラムである。一つの大学では得られない高度で付加価値の高い学修機会を獲得できる、グローバル人材としてのキャリアを形成できる、より短い期間及び少ない経済的負担で複数の大学の学位を取得できるなどの利点がある。

8.1 プログラム履修上の注意

ダブル・ディグリープログラムでは、大学間協定に基づいた単位互換制度を活用することにより、二つの大学に入学して双方から学位を得る場合と比べて期間及び学修量が多少緩和されるが、それでもなお複数の学位を取得するに相応しい語学力と学修期間及び努力が必要である。また、一般的に留学先の入学料や授業料は免除となるが、留学にかかる費用は原則、学生本人の負担となる点にも注意が必要である。さらに、留学先毎にダブル・ディグリープログラムの募集内容、教務日程及び修了要件が異なるので、事前に指導教員と履修計画や研究計画について良く相談しておくことが重要である。なお、留学派遣候補者に決定した後は、本学が正当と認める理由がなければ辞退できなくなるので、応募に際しては熟考のうえ申請しなければならない。

8. Double Degree Programme

The Double Degree Program is an educational program which makes it possible for students to study at an overseas university for a certain period of time while enrolled in Kagoshima University and meet the requirements for completion of both universities so that they can obtain a degree (master's) from both universities. The program offers advantages such as obtaining advanced, high-value-added learning opportunities that cannot be obtained at a single university; in addition, students will be afforded the possibility of building a career as a global human resource, gaining multiple university degrees in a short period of time and doing so at lower costs.

8.1 Advice for Registration into the Programme

Since the Double Degree Program utilizes a credit transfer system based on inter-university agreements, the period and the amount of study are slightly lower as compared with studying at and obtaining a degree from two universities. However, it still requires the appropriate language skills, study period and effort to obtain multiple degrees.

Furthermore, while admission fees and tuition fees at an overseas university are generally exempted, it must be noted that the cost of studying abroad must be paid by the student. In addition, since the recruitment details, teaching schedule and completion requirements of the Double Degree Program differ from university to university, it is important to consult with the supervisors in advance about the course work and research plans.

Please be aware that once decision is made for study abroad, it is impossible to decline an offer unless the University finds the reason for decline as justifiable. Therefore, it is strongly advised that students consider deeply before applying.

9. 大学院全学横断的教育プログラム University-wide Educational Programme

大学院全学横断的教育プログラムについて

鹿児島大学では、本学に在籍する大学院生が自身の専門性を高めると同時に、その専門性の幅を広げ、異なる視点から課題を探究する力を養うために「大学院全学横断的教育プログラム」を実施しています。現代社会においては、いずれの分野においても専門性の高度化が進んだことにより、専門分野以外の知識や研究状況を把握することが難しくなっています。しかし、社会的課題の背景には複合的な問題があり、ある特定の専門的知識だけでは解決が困難な場合が少なくありません。そこで、総合大学である本学の特色を生かして大学院生の知識や視点を広げることを意図して準備されているのが大学院全学横断的教育プログラムです。

具体的には、所属する研究科とは異なる研究科の一部開講科目の履修が認められます。異なる専門分野の授業内容を理解するのは大学院生といえども容易ではないでしょう。しかし、だからこそ有意義な知見が得られる可能性があります。このプログラムに含まれる科目リストが次ページにあります。キーワードとなるカテゴリ別に示してありますので、自身の関心に応じて履修してみてください。カテゴリは以下のとおりです。

【カテゴリ】

島嶼学	島嶼の複雑な文化・社会・自然をその特徴と固有性から理解する
環境学	鹿児島の日常から環境問題を捉え、提言する
食と健康	現代の食について、生産、機能から経済までを考える
水	地域における人と自然と水の関わりから、水の未来を考える
エネルギー	エネルギーが持つ多様な可能性と有効利用を考える
外国語コミュニケーション	国際通用性を有するコミュニケーション力を育む

なお、詳細な履修案内及びシラバスについては、[本学公式 web ページ「教育・学生生活」](#) → [「教育活動」](#) → [「大学院全学横断的教育プログラム履修案内」](#)、[「大学院の講義概要（シラバス）」](#) から確認してください。

<履修にあたって>

- ・履修を希望する学生は、各研究科が指定する期間内に所属研究科の大学院教務担当窓口で履修申請を行ってください。
- ・本プログラムで取得した単位を修了要件単位として取り扱われるか否かは、所属研究科の大学院教務担当窓口を確認してください。
- ・本プログラムについての問合せは、所属研究科の大学院教務担当窓口か学生部教務課大学院係へお願いします。
学生部教務課大学院係（099-285-7346）

University-wide Educational Programme

Kagoshima University offers the Postgraduate School University-wide Educational Programme in order to help the postgraduate students of the university to enhance the depth and scope of their expertise, and to advance their ability to explore various issues from different perspectives.

In the contemporary world, the advancement of specialization in every discipline has made it increasingly difficult to grasp the knowledge and current state of affairs in research fields other than one's own. However, there are complex problems behind social issues, and it is often difficult to solve them with the specialized knowledge available in a single field of research. This is where the Postgraduate University-wide Educational Programme comes into the picture since it is designed to take advantage of Kagoshima University's being a university to broaden students' knowledge and perspectives.

Specifically, students may take the designated subjects offered by graduate schools other than those to which they belong. Even though gaining a firm grasp on the content of classes from a different specialization may not be easy even for graduate students, attempting to do so is precisely the reason why they may gain meaningful insights. The list of subjects included in the Programme is on the next page. The subjects are categorized by keywords, so please use these to make a choice according to your area of interest. The categories are as follows:

【Categories】

Archipelagic Sciences	Understand the complex culture, society and nature of islands based on their characteristics and uniqueness.
Environmental Science	Understand environmental issues through the daily life of Kagoshima and make proposals.
Food and Health Education	Develop an understanding of the production, function and the economics of food in contemporary society.
Hydraulic	Develop a future vision of water environment from the viewpoint of the relationship between people, nature and water in the community.
Energy	Gain a grasp of the diverse possibilities and utilization of energy.
Foreign Language Communication	Improve communication skills to be able to compete globally.

For detailed information about Registration, the Curriculum Guide and the Syllabus, students should check the details of the programmes as they appear in the Web site of the University.

<Registration information>

- Register at the Student Affairs Office during the period designated by the relevant Graduate School.
- Check with the Student Affairs Office about whether or not the credits you will earn from the Programme will be counted as credits required for graduation.
- For inquiries about the Programme, contact the Student Affairs Office or the Academic Affairs Division, Student Affairs Department.

Academic Affairs Division, Student Affairs Department (+81-99-285-7346)

10. 科目一覽

List of Subjects

以下の表は、農林水産学研究科の教育に関連する全ての科目について、各コースやプログラムでの指定を表示している。各科目の位置付けをよく理解し、指導教員と相談した上で履修すること。

- : 必修。修了のために単位取得を必須とするもの
- ◎ : 選択必修。提示された科目群から指定された単位数以上を取得する必要があるもの
(指定された単位数以上に取得した場合は選択科目として修了要件に算入される)
- : 選択。提示された科目群から指定された単位数以内であれば修了要件として扱うもの
- ▲ : 自由科目。修了要件単位に含まれないもの
- × : 履修不可

The following table lays out the requirements for each Course/Program of all subjects related to the education provided by the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries. Develop a good understanding about the standing of each subject and consult with your supervisors before registration.

- : Compulsory subjects. Obtainment of credits are required for graduation.
- ◎ : Electively compulsory subjects. Students are required to choose electively compulsory subjects from a group of designated subjects and obtain the number of credits or more required by the Course. (If more credits than designated are obtained, the surplus will be counted in the requirements for graduation for elective subjects.)
- : Elective subjects. Students are required to choose elective subjects from a group of designated subjects which are counted, up to the designated limit, in the points required for graduation.
- ▲ : Non-credit subjects. Carry credits which are not included in the number of credits required to graduate.
- × : Non-recognition for registration. Open only to specific students.

- 1) 農林資源科学専攻の留学生プログラム登録者のみ必修 (他の専攻からは履修不可)
- 2) 食品創成科学専攻の留学生プログラム登録者のみ必修 (他の専攻からは履修不可)
- 3) 環境フィールド科学専攻の留学生プログラム登録者のみ必修 (他の専攻からは履修不可)
- 4) 水産資源科学専攻の留学生プログラム登録者のみ必修 (他の専攻からは履修不可)
- 5) 受講にあたっては主指導教員に相談のこと
- 6) 特定のコースに属する留学生を対象にしているため、受講にあたっては主指導教員及び授業担当教員に相談のこと
- 7) 日本人学生は履修不可。留学生プログラムに登録していない留学生が履修した場合は自由科目とする。

- 1) Compulsory only for foreign students registered in Foreign Student Programme of Agriculture, Natural Resources and Forestry (unavailable to students of other departments).
- 2) Compulsory only for foreign students registered in Foreign Student Programme of Food Innovation Science (unavailable to students of other departments).
- 3) Compulsory only for foreign students registered in Foreign Student Programme of Field Environment Science (unavailable to students of other departments).
- 4) Compulsory only for foreign students registered in Foreign Student Programme of Fisheries Resource Science (unavailable to students of other departments).
- 5) Consult with your main supervising professor before registration.
- 6) Consult before registration with your main supervising professor and the teacher of the subject because it was designed for foreign students of specific Courses.
- 7) Not open to Japanese nationals. Will be counted in non-credit subjects if taken by foreign students who are not registered in the Foreign Student Programme.

科目番号 Subject No.	期 Term	区分 Category	科目名 Subject	言語 Language	単位 Credits	農林資源科学				食品創製科学				環境サイエンス		水産資源科学				留学生プログラム Foreign Student Programme
						植物生産科学コース	畜産科学コース	森林科学コース	食料農業経済学コース	食品科学コース	先端生命科学コース	焼酎発酵・微生物科学コース	生物環境科学コース	環境システム科学コース	生物資源科学コース	増養殖学コース	環境保全学コース	流通・政策学コース		
1	1期	研究科共通科目 General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries	食料生産における技術イノベーションと地域創生 Innovation in Food Production and Local Community Restructure	J	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	▲
2	1期	研究科共通科目 General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries	環境変動に対応した防災と持続的・一次産業 Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change	J	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	▲
3	1-4期集中intensive	研究科実験実習科目 Experiment and Practical Training	沿岸域乗船実習(大学院) On-board Training in Coastal Area	J/E	1	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○(5)
4	1-4期集中intensive	キャリア実践科目 Business Skills	インターンシップA Internship A	J/E	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(5)
5	1-4期集中intensive	キャリア実践科目 Business Skills	インターンシップB Internship B	J/E	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(5)
6	2期	キャリア実践科目 Business Skills	ビジネスツール実践演習 Practices of Business Tools	J	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲
7	2期	キャリア実践科目 Business Skills	実用英語S Practical English S	J	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
8	2期	キャリア実践科目 Business Skills	水産業の課題と未来 Current Issues and Future Prospect in Fisheries	J	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲
9	1b期集中intensive	キャリア実践科目 Business Skills	Tropical Fisheries	J	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
10	1-2期集中intensive	キャリア実践科目 Business Skills	地域創生・食産業マネジメントプログラム Program for Local Revitalization and Agri-Food Industry Management	J	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

科目番号 Subject No.	期 Term	区分 Category	科目名 Subject	言語 Language	単位 Credits	農林資源科学	食品創製科学	環境フュー ルド科学	水産資源科学	留学生プログラム Foreign Student Programme
11	1・3期集中 intensive	キャリア実践科目 Business Skills	食品安全特論 Advanced Food Safety	J	2	▲	▲	▲	▲	×
12	1・3期集中 intensive	キャリア実践科目 Business Skills	食品産業監査特論 Advanced audit for food industry	J	1	▲	▲	▲	▲	×
13	1・3期集中 intensive	キャリア実践科目 Business Skills	マクドナルドサブプライチエーション品質・ 安全特論 McDonald's food quality and safety	J	1	▲	▲	▲	▲	×
14	1・3期集中 intensive	キャリア実践科目 Business Skills	食品加工論 Food process technology	J	1	▲	▲	▲	▲	×
15	1・3期集中 intensive	キャリア実践科目 Business Skills	食品衛生論 Food hygiene science	J	1	▲	▲	▲	▲	×
16	1・3期集中 intensive	キャリア実践科目 Business Skills	食品環境測定論 Laboratory work for food science	J	1	▲	▲	▲	▲	×
17	1・3期集中 intensive	キャリア実践科目 Business Skills	食品産業国際規格論 International standards for food industry	J	1	▲	▲	▲	▲	×
18	1・3期集中 intensive	キャリア実践科目 Business Skills	食品産業実習 Practical training in food industry	J	1	▲	▲	▲	▲	×
19	1-4期集中 intensive	キャリア実践科目 Business Skills	国際バイテク・リーダー育成 A Study Tour to Thailand for Development of Biotech Leaders with Global Perspective	J	2	○	○	○	○	×
20	隔年・1期 集中 intensive	キャリア実践科目 Business Skills	商品開発特論 Advanced Commodity Development	J	2	▲	▲	▲	▲	×

科目番号 Subject No.	期 Term	区分 Category	科目名 Subject	言語 Language	単位 Credits	農林資源科学	食品創製科学	環境サイエンス科学	水産資源科学	留学生プログラム Foreign Student Programme
21	1期	基礎特論 Basic Lecture	植物生産科学基礎特論 Plant Production Science	J	2	◎	◎	◎ a)	◎	▲
22	1期	基礎特論 Basic Lecture	畜産科学基礎特論 Animal Science	J	2	◎	◎	◎ a)	◎	▲
23	1期集中 intensive	基礎特論 Basic Lecture	森林科学基礎特論 Forest Science	J	2	◎	◎	◎ a)	◎	▲
24	1期	基礎特論 Basic Lecture	食料農業経済学基礎特論 Food and Agricultural Economics	J	2	◎	◎	◎ a)	◎	▲
25	1期	基礎特論 Basic Lecture	食品科学基礎特論 (Food Science)	J	2	◎	◎	◎ a)	◎	▲
26	1期	基礎特論 Basic Lecture	先端生命科学基礎特論 Advanced Life Science	J	2	◎	◎	◎ a)	◎	▲
27	1期	基礎特論 Basic Lecture	微生物科学基礎特論 Microbiology	J	2	◎	◎	◎ a)	◎	▲
28	夏期集中 intensive	基礎特論 Basic Lecture	生物環境科学基礎特論 Aquatic Biology	E	2	◎	◎	◎ a)	◎	○5)
29	1期	基礎特論 Basic Lecture	環境システム学基礎特論 Environmental System Science	J	2	◎	◎	◎ a)	◎	▲
30	夏期集中 intensive	基礎特論 Basic Lecture	生物資源科学基礎特論 Aquatic Bioresource Science and Technology	E	2	◎	◎	◎ a)	◎	○5)
31	夏期集中 intensive	基礎特論 Basic Lecture	増養殖学基礎特論 Aquaculture	E	2	◎	◎	◎ a)	◎	○5)
32	1期	基礎特論 Basic Lecture	環境保全学基礎特論 Environmental and Conservation Sciences	J/ E	2	◎	◎	◎ a)	◎	○5)
33	1期	基礎特論 Basic Lecture	水産流通・政策学基礎特論 Marketing and Management in Fisheries	J/ E	2	◎	◎	◎ a)	◎	○5)

科目番号 Subject No.	期 Term	区分 Category	科目名 Subject	言語 Language	単位 Credits	農林資源科学	食品創製科学	環境サイエンス科学	水産資源科学	留学生プログラム Foreign Student Programme
34	1期集中 intensive	専攻共通科目 Thesis Research	農林資源科学倫理特論 Research Ethics in Agriculture, Natural Resources and Forestry	J/ E	1	●	×	×	×	●1)
35	1期集中 intensive	専攻共通科目 Thesis Research	農林資源科学特別研究 I Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry I	J/ E	3	●	×	×	×	●1)
36	2期集中 intensive	専攻共通科目 Thesis Research	農林資源科学特別研究 II Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry II	J/ E	4	●	×	×	×	●1)
37	3期集中 intensive	専攻共通科目 Thesis Research	農林資源科学特別研究 III Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry III	J/ E	2	●	×	×	×	●1)
38	2期	コース独自科目 Lectures for Course Students	植物生産科学特別講義 Special Lecture for Plant Production Science	J	2	●	○	○	○	▲
39	1-2期集中 intensive	コース独自科目 Lectures for Course Students	植物生産科学特別演習 Seminar in Plant Production Science	J/ E	2	●	○	○	○	○6)
40	1-2期集中 intensive	コース実験実習科目 Experiment and Practical Training for Course Students	植物生産科学実習 1 Practical training in Plant Production Science 1	J/ E	2	×	○	○	○	○5)
41	1-2期集中 intensive	コース実験実習科目 Experiment and Practical Training for Course Students	植物生産科学実習 2 Practical training in Plant Production Science 2	J/ E	2	◎	×	×	×	○6)

科目番号 Subject No.	期 Term	区分 Category	科目名 Subject	言語 Language	単位 Credits	農林資源科学	食品創製科学	環境フュー ルド科学	水産資源科学	留学生プログラム Foreign Student Programme
50	夏期集中 intensive	コース独自科目 Lectures for Course Students	海外森林・林業事情 Foreign forest and forestry affairs	J/ E	2	植物生産科学コース ○	食品創製科学 食品科学コース ○	環境システム科学コース ○	水産資源科学 生物資源科学コース ○	○(6)
51	1-2期集中 intensive	コース実験実習科目 Experiment and Practical Training for Course Students	演習林特別実習 Advanced Practice in Experimental Forest	J/ E	1	植物生産科学コース ○	食品創製科学 食品科学コース ○	生物環境科学コース ○	水産資源科学 増養殖学コース ○	○(5)
52	1-4期集中 intensive	コース独自科目 Lectures for Course Students	アグリフーズビジネス特別演習 Advanced Seminar in Agri-Food Business	J	4	植物生産科学コース ×	食品創製科学 食品科学コース ×	生物環境科学コース ×	水産資源科学 増養殖学コース ×	×
53	1期集中 intensive	専攻共通科目 Thesis Research	食品創成科学倫理特論 Research Ethics in Food Innovation Science	J/ E	1	植物生産科学コース ×	食品創製科学 食品科学コース ●	生物環境科学コース ×	水産資源科学 増養殖学コース ×	●(2)
54	1期集中 intensive	専攻共通科目 Thesis Research	食品創成科学特別研究Ⅰ Special Research in Food Innovation ScienceⅠ	J/ E	3	植物生産科学コース ×	食品創製科学 食品科学コース ●	生物環境科学コース ×	水産資源科学 増養殖学コース ×	●(2)
55	2期集中 intensive	専攻共通科目 Thesis Research	食品創成科学特別研究Ⅱ Special Research in Food Innovation ScienceⅡ	J/ E	4	植物生産科学コース ×	食品創製科学 食品科学コース ●	生物環境科学コース ×	水産資源科学 増養殖学コース ×	●(2)
56	3期集中 intensive	専攻共通科目 Thesis Research	食品創成科学特別研究Ⅲ Special Research in Food Innovation ScienceⅢ	J/ E	2	植物生産科学コース ×	食品創製科学 食品科学コース ●	生物環境科学コース ×	水産資源科学 増養殖学コース ×	●(2)
57	2期集中 intensive	コース独自科目 Lectures for Course Students	食品科学特別講義 Special lecture for Food Science	J/ E	2	植物生産科学コース ×	食品創製科学 食品科学コース ●	生物環境科学コース ×	水産資源科学 増養殖学コース ×	○(6)
58	1期集中 intensive	コース独自科目 Lectures for Course Students	食品科学特別演習 Seminar in Food Science	J/ E	2	植物生産科学コース ×	食品創製科学 食品科学コース ●	生物環境科学コース ×	水産資源科学 増養殖学コース ×	○(6)

科目番号 Subject No.	期 Term	区分 Category	科目名 Subject	言語 Language	単位 Credits	農林資源科学	食品創製科学	環境フュー ルド科学	水産資源科学	留学生プログラム Foreign Student Programme
59	1-4期集中 intensive	コース独自科目 Lectures for Course Students	HACCP 監査研修 Practice foodsafety system on HACCP	J	2	植物生産科学コース ○	食品科学コース ○	生物環境科学コース ○	生物資源科学コース ○	○
60	隔年・1期 集中 intensive	コース独自科目 Lectures for Course Students	先端バイオテクノロジー Advanced Biotechnology	J	2	畜産科学コース ○	食品科学コース ○	生物環境科学コース ○	増養殖学コース ○	×
61	2期集中 intensive	コース独自科目 Lectures for Course Students	先端生命科学特別講義 Special lecture for Advanced Life Science	J/ E	2	森林科学コース ○	食品科学コース ○	生物環境科学コース ○	環境保全学コース ○	○(6)
62	1期集中 intensive	コース独自科目 Lectures for Course Students	先端生命科学特別演習 Seminar in Advanced Life Science	J/ E	2	植物生産科学コース ○	食品科学コース ○	生物環境科学コース ○	環境保全学コース ○	○(6)
63	2期集中 intensive	コース独自科目 Lectures for Course Students	焼酎発酵・微生物科学特別講義 Special lecture for Microbiology and Fermentation Technology	J/ E	2	森林科学コース ○	食品科学コース ○	生物環境科学コース ○	増養殖学コース ○	○(6)
64	1期集中 intensive	コース独自科目 Lectures for Course Students	焼酎発酵・微生物科学特別演習 Seminar in Microbiology and Fermentation Technology	J/ E	2	森林科学コース ○	食品科学コース ○	生物環境科学コース ○	増養殖学コース ○	○(6)
65	1期集中 intensive	専攻共通科目 Thesis Research	環境フュールド科学倫理特論 Research Ethics in Field Environment Science	J/ E	1	森林科学コース ○	食品科学コース ○	生物環境科学コース ○	増養殖学コース ○	●(3)
66	1期集中 intensive	専攻共通科目 Thesis Research	環境フュールド科学特別研究 I Special Research on Field Environment ScienceI	J/ E	3	森林科学コース ○	食品科学コース ○	生物環境科学コース ○	増養殖学コース ○	●(3)
67	2期集中 intensive	専攻共通科目 Thesis Research	環境フュールド科学特別研究 II Special Research on Field Environment Science II	J/ E	4	森林科学コース ○	食品科学コース ○	生物環境科学コース ○	増養殖学コース ○	●(3)

科目番号 Subject No.	期 Term	区分 Category	科目名 Subject	言語 Language	単位 Credits	農林資源科学	食品創製科学	環境フュー ルド科学	水産資源科学	留学生プログラム Foreign Student Programme
68	3期集中 intensive	専攻共通科目 Thesis Research	環境フュールド科学特別研究Ⅲ Special Research on Field Environment Science III	J/ E	2	×	×	●	×	● ³⁾
69	2期集中 intensive	コース独自科目 Lectures for Course Students	生物環境科学特別講義 Special Lecture for Aquatic Biology	J/ E	2	×	×	●	×	○ ⁶⁾
70	2期	コース独自科目 Lectures for Course Students	解析学特別講義 Special Lecture for Mathematical Analysis	J	2	○	○	◎ b)	○	▲
71	2期集中 intensive	コース独自科目 Lectures for Course Students	ICT・ロボット技術特別講義 Special Lecture for ICT and Robotics	J	2	○	○	◎ b)	○	▲
72	2期集中 intensive	コース独自科目 Lectures for Course Students	水科学特論 Advanced Water Science	J	2	○	○	○	○	▲
73	2期集中 intensive	コース実験実習科目 Experiment and Practical Training for Course Students	外洋域乗船実習 On-board Training of Oceanographic Observation	J/ E	1	○	○	◎ c)	○	○ ⁶⁾
74	1期	コース実験実習科目 Experiment and Practical Training for Course Students	フュールド計測実習 Practical Training for Field Measurement Methods and Instrumentation	J/ E	1	○	○	◎ c)	○	○ ⁶⁾
75	1期集中 intensive	専攻共通科目 Thesis Research	水産資源科学倫理特論 Research Ethics in Fisheries Resource Science	J/ E	1	×	×	×	●	● ⁴⁾

科目番号 Subject No.	期 Term	区分 Category	科目名 Subject	言語 Language	単位 Credits	農林資源科学	食品創製科学	環境ファイ ールド科学	水産資源科学	留学生プログラム Foreign Student Programme
84	1期集中 intensive	コース独自 Lectures for Course Students	水産流通・政策学特別講義 Special Lecture for Marketing and Management in Fisheries	J/ E	2	○	○	○	○	▲
85	2期	留学生プログラム Lecture for Foreign Students	Technology, Sustainable Food and Agriculture: The Synergy	E	2	○	○	○	○	●
86	1期	留学生プログラム Lecture for Foreign Students	Fisheries & Fisheries Sciences	E	2	○	○	○	○	●
87	2期	留学生プログラム Lecture for Foreign Students	Functional Foods: Principles and Biofunctions	E	2	○	○	○	○	○(5)
88	1期	留学生プログラム Lecture for Foreign Students	Advanced Plant Production Science	E	2	▲	○	○	○	○(5)
89	1期集中 intensive	留学生プログラム Lecture for Foreign Students	農林水産学リーディングコース I Reading Course for Agriculture, Forestry and Fisheries I	E	2	○	○	○	○	○(5)
90	2期集中 intensive	留学生プログラム Lecture for Foreign Students	農林水産学リーディングコース II Reading Course for Agriculture, Forestry and Fisheries II	E	2	○	○	○	○	○(5)
91	1-4期集中 intensive	留学生プログラム Lecture for Foreign Students	留学生日本語 7) Japanese for Foreign Students	E	2	▲(×)	▲(×)	▲(×)	▲(×)	○(5)
						植物生産科学コース	食品科学コース	生物環境科学コース	生物資源科学コース	
						畜産科学コース	先端生命科学コース	環境システム科学コース	増養殖学コース	
						森林科学コース	焼酎発酵・微生物科学コース	生物環境科学コース	環境保全学コース	
						食料農業経済学コース	食品科学コース	生物環境科学コース	流通・政策学コース	

11. 関係規則

Academic Rules

The official text of each regulation is the Japanese version. As the English translation is provided only for reference, if there are any discrepancies between Japanese and English versions, the Japanese takes precedence.

鹿児島大学大学院農林水産学研究科規則

平成31年4月1日

農水研規則第9号

(趣旨)

第1条 この規則は、鹿児島大学大学院農林水産学研究科(以下「本研究科」という。)に関し、鹿児島大学大学院学則(平成16年規則第87号。以下「大学院学則」という。)その他の規則等に定めるもののほか、必要な事項を定める。

(コース)

第2条 本研究科の各専攻に、次のコースを置く。

農林資源科学専攻 植物生産科学コース 畜産科学コース 森林科学コース 食料農業
経済学コース

食品創成科学専攻 食品科学コース 先端生命科学コース 焼酎発酵・微生物科学
コース

環境フィールド科学専攻 生物環境科学コース 環境システム科学コース

水産資源科学専攻 生物資源科学コース 増養殖学コース 環境保全学コース 流通・
政策学コース

(目的)

第3条 本研究科は、人の健全な生活の基盤である農林水産業、食、環境、生命科学などの分野に関する高度な専門教育を行い、農学及び水産学が取り扱う分野における高度な研究・開発能力を備え、ICT化等による先進的スマート農林水産業を創出する人材や食の安全・品質保証・グローバル化に適応可能な人材、地域に貢献できる人材、更には世界で活躍できる人材を養成することを目的とする。

2 本研究科の各専攻は、次に掲げる人材を養成する。

農林資源科学専攻

農林畜産資源に関する高度な専門教育及び実践教育と高度な技術・理論を修得し、国際的かつ日本の主要な農業生産地帯である南九州を基盤とした地域社会において、農林畜産業の振興と発展、問題点抽出とその解決に際して、指導的立場で中心的役割を果たせる人材

食品創成科学専攻

農畜水産資源に関する食品学、先端生命科学、応用食品開発学及び加工・保蔵学並びに焼酎・発酵食品及び微生物に関するより高度な専門知識を身に付け、課題解決方法の提起やその実現のための技術を修得した食品・生命科学関連産業における指導的立場での解決能力を示せる人材

環境フィールド科学専攻

南西諸島と南九州周辺の陸域・海域に特有の気候、環境、災害、生物資源及びそれらの関連性を理解するための高度な科学的知識、更に、当該地域の環境保全及び生産環境・基盤に関する実践的知識と先進技術を身に付け、これらに関わる問題点の抽出とその解決策の提案を通して地域の一次産業の振興に貢献し、地域社会において中心的役割を果たせる人材

水産資源科学専攻

水産政策学、水産流通学、資源生物学、資源生産学、増養殖学及び環境保全学に関わる専門教育を行い、水産業を取り巻く社会経済、資源、漁業技術、増養殖技術及び漁場環境に関わる多様な課題やその課題に対する改善アプローチについての総合的かつ専門的理解をもち、地域や国際社会で水産業の発展に活躍できる人材

(担当教員)

第4条 本研究科に、大学院学則第11条第1項の規定に基づき、本研究科の授業及び学位論文の作成等に対する指導(以下「研究指導」という。)を担当する教員(以下「担当教員」という。)を置き、個人別、専攻別及びコース別に常にその配置状況等を明らかにしておくものとする。

2 前項の担当教員のほか、本研究科に、授業のみを担当する教員を置くことができる。

3 担当教員及び授業のみを担当する教員の資格、選考方法その他の必要な事項は、別に定める。

4 前3項の規定にかかわらず、Postgraduate (Master) Programme on Tropical Fisheries with International Linkage(国際連携による研究科熱帯水産学プログラム)に係る教員の資格審査は、Common Rule for Postgraduate (Master) Programme on Tropical Fisheries with International Linkage (国際連携による研究科熱帯水産学プログラム共通規則。以下「共通規則」という。)及び別に定めるところによる。

(指導教員)

第5条 本研究科の担当教員は、学生の研究指導を総括的に担当する主指導教員及び主指導教員とともに研究指導の補助を行う副指導教員とし、学生1人に対して主指導教員、第一副指導教員及び第二副指導教員をそれぞれ1人ずつ置く。

2 前項の主指導教員は、主指導教員資格を有する者をもって充て、副指導教員は、主指導教員資格又は副指導教員資格を有する者をもって充てる。

3 前2項の規定にかかわらず、熱帯水産学国際連携履修プログラムに登録した学生の研究指導を担当する教員は、共通規則及び別に定めるところによる。

(入学者選抜)

第6条 本研究科の入学者の選抜方法は、別に定める。

(履修方法等)

第7条 本研究科の授業科目の内容及び単位数、研究指導の内容並びにこれらの履修方法は、別に定める。

(修士論文の審査等)

第8条 修士論文についての研究の成果の審査及び最終試験に関し必要な事項は、別に定める。

(学位)

第9条 本研究科を修了した者に授与する学位は、次に掲げるとおりとする。

農林資源科学専攻 修士(農学)

食品創成科学専攻 修士(農学)又は修士(水産学)

環境フィールド科学専攻 修士(農学)又は修士(水産学)

水産資源科学専攻 修士(水産学)

2 食品創成科学専攻及び環境フィールド科学専攻を修了した者に授与する学位の専攻分野の名称は、当該修了者の研究分野及び修得した科目を基に決定する。

(再入学)

第10条 大学院学則第31条第1項第1号に該当して本研究科に再入学を志願する者があるときは、教授会において選考の上、再入学を許可することがある。ただし、再入学の時点で退学後2年を超えている者については、この限りでない。

2 前項の規定により再入学を許可された者は、退学前に所属していた専攻に所属するものとする。

3 第1項の規定により再入学を許可された者の入学の時期は、原則として学年の始めとする。

4 第1項の規定により再入学を許可された者の在学年限は、退学又は除籍前の在学期間を含めるものとし、修得すべき単位数は、退学前の既修得単位数と通算する。

(転専攻、転研究科及び転入学)

第11条 本研究科の学生で、他の専攻に転専攻を志願する者があるときは、教授会において選考の上、転専攻を許可することがある。

2 本研究科の学生で、他の研究科に転研究科を志願する者があるときは、転研究科しようとする研究科の定めるところにより、教授会の議を経て、転研究科を許可することがある。

3 他の研究科の学生で、本研究科に転研究科を志願する者があるときは、欠員がある場合に限り、教授会で選考の上、相当年次へ転研究科を許可することがある。

4 他の大学の大学院の学生で、本研究科に転入学を志願する者があるときは、欠員がある場合に限り、教授会で選考の上、相当年次へ転入学を許可することがある。

5 前2項の規定により転研究科又は転入学を許可された者の在学年数及び既修得単位は、教授会の議に基づき決定する。

(研究生)

第12条 研究生として入学を志願する者があるときは、教授会において選考の上、入学を許可することがある。

2 研究生については、鹿児島大学研究生規則(平成16年規則第113号)によるほか、別に定めるところによる。

(科目等履修生)

第13条 科目等履修生として入学を志願する者があるときは、教授会において選考の上、入学を許可することがある。

2 科目等履修生については、鹿児島大学科目等履修生規則(平成16年規則第112号)によるほか、別に定めるところによる。

(雑則)

第14条 この規則に定めるもののほか、本研究科に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

鹿児島大学大学院農林水産学研究科履修規則

平成31年4月1日
農水研規則第10号

(趣旨)

第1条 この規則は、鹿児島大学大学院農林水産学研究科規則(平成31年農水研規則第9号。以下「研究科規則」という。)第7条の規定に基づき、鹿児島大学大学院農林水産学研究科(以下「本研究科」という。)の履修方法等に関し、必要な事項を定める。

(留学生プログラム)

第2条 本研究科に、外国人留学生を対象に英語のみによる履修を目的とした留学生プログラムを置く。

- 2 本研究科の外国人留学生は、研究科規則第2条に掲げるコースにかかわらず、留学生プログラムに登録することができる。
- 3 留学生プログラムについては、履修の手引きに定める。

(熱帯水産学国際連携履修プログラム)

第3条 本研究科に、海外の大学院修士課程と連携し、共通のカリキュラム、組織・教務規則、運営組織等に基づく単一プログラムを形成することで、国際的かつ高品質な教育環境の下での広範囲な課題に対応可能なグローバル人材を育成することを目的とした熱帯水産学国際連携履修プログラムを置く。

- 2 本研究科の学生は、研究科規則第2条に掲げるコースにかかわらず、熱帯水産学国際連携履修プログラムに登録することができる。
- 3 熱帯水産学国際連携履修プログラムについては、別に定める。

(教育方法)

第4条 本研究科の教育は、授業科目の授業及び研究指導によって行う。

- 2 本研究科の教育課程は、各授業科目を必修科目、選択必修科目、選択科目及び自由科目に区分して編成する。
- 3 本研究科の授業科目、単位数及び履修方法については、履修の手引きに定める。

(単位)

第5条 単位の計算方法については、鹿児島大学学則(平成16年規則第86号。以下「学則」という。)第40条第1項の規定により次のとおりとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの授業をもって1単位とする。
- (2) 実験及び実習については、30時間から45時間までの授業をもって1単位とする。
- (3) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮した時間の授業をもって1単位とする。

(学期)

第6条 学則第24条に規定された学期をクォーター制により運用する場合は、次に掲げるとおりとする。

- (1) Ia及びⅢaクォーター：前期の最初の8週間
- (2) Ib及びⅢbクォーター：Ia及びⅢaクォーターに続く8週間

- (3) II a及びIVaクォーター：後期の最初の8週間
 - (4) II b及びIVbクォーター：II a及びIVaクォーターに続く8週間
- 2 第3条の熱帯水産学国際連携履修プログラムの科目は、夏季休業中に開設する。
(履修科目の届出)

第7条 学生は、本研究科の指定する期間内に、受講届により履修する授業科目を登録しなければならない。

- 2 履修登録の変更は、定められた履修登録変更期間を除き、原則として認めない。ただし、海外で開講される科目を除き、次の各号の一に該当する場合は履修登録を取り消すことができる。
 - (1) 病気、けが等による長期欠席のため、医師の診断書を添付して履修登録取消願により申請した場合
 - (2) 履修登録確定後3週間以内に、履修登録取消願により申請した場合
- 3 前項の規定にかかわらず、夏季休業中に開講する科目、集中講義科目及び乗船実習科目にあっては、履修の手引きに、Postgraduate (Master) Program on Tropical Fisheries with International Linkage (国際連携による研究科熱帯水産学プログラム。以下「ILP」という。)構成校が提供する科目にあっては、別に定めるところによる。
- 4 履修登録していない授業科目については、受講することができない。
- 5 乗船実習科目については、時間割上同じ時間帯にある授業科目と重複して履修することができる。

(履修科目の登録の上限)

第8条 学生が、修了要件となる単位数その他の必修科目の単位数として、各学期に履修登録することができる授業科目の合計単位数は、16単位を限度とする。

- 2 前項の上限単位数には、夏季休業中に開講する科目、集中開講科目及び随時開講科目の単位数は含まないものとする。

(教育方法の特例)

第9条 教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行うことができる。

(他の研究科の授業科目の履修)

第10条 学生は、他の研究科の授業科目を、当該研究科の定めるところにより履修することができる。

- 2 前項の規定により他の研究科の授業科目を履修する場合は、あらかじめ、本研究科の研究科長を経て、当該研究科の研究科長の許可を受けるものとする。
- 3 第1項の規定により修得した単位は、10単位を上限として、各コースの定めるところにより本研究科における選択科目の履修により修得したものとみなすことができる。

(他大学の大学院における授業科目の履修等の取扱い)

第11条 鹿児島大学大学院学則(平成16年規則第87号。以下「大学院学則」という。)第21条の規定により、学生は、他の大学の大学院(外国の大学院を含む。)の授業科目を履修することができる。

- 2 前項の規定により修得した単位は、あらかじめ指導教員が必要と認めて履修した場合にあっては、本研究科における選択科目の履修により修得したものとみなすことができ

る。

3 前2項の規定にかかわらず、熱帯水産学国際連携履修プログラムに登録した学生が、ILP構成大学が提供する授業科目を履修する場合は、別に定めるところによる。

(入学前の既修得単位等の取扱い)

第12条 学生が本研究科に入学する前に、本学又は他の大学の大学院(外国の大学院を含む。)において修得した単位の認定については、別に定める。

(早期修了)

第13条 大学院学則第39条第1項ただし書きの規定による優れた業績を上げた者の取扱いについては別に定める。

(長期にわたる教育課程の履修)

第14条 学生が職業を有している等の事情により、大学院学則第14条に定める標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。

2 前項に関し必要な事項は、別に定める。

(授業科目の試験)

第15条 授業科目の試験は、学期の終わりに行う。ただし、必要があるときは臨時に行うことがある。

(受験資格)

第16条 学生は、受講届を提出した授業科目について、実際の授業時数の3分の2以上出席した場合に限り、前条の授業科目の試験を受けることができる。

(試験の方法)

第17条 第14条の授業科目の試験は、当該授業を担当した教員が筆記試験、口述試験又は研究報告によって行い、その評点は当該教員が決定する。

2 前項の教員に事故があるときは、教授会の意見を聴いて研究科長が定める他の教員が行う。

(成績評価)

第18条 成績評価は、每学期末又は毎学年末において授業担当教員が行う。ただし、授業担当教員が退職し、又は事故あるときは教授会が定める他の教員が行う。

2 成績評価を受けようとする者は、受講科目を所定の期日までに研究科長に届け出なければならない。

3 成績評価を受けることができる科目は、授業を受けた科目に限る。

4 教授会が特に必要と認めたときは、再評価を行うことがある。

(成績評価基準)

第19条 履修科目の成績は、100点満点で60点以上を合格とし、所定の単位を与え、60点未満を不合格とし、単位を与えない。

2 前項の成績を公表する必要がある場合は、秀・優・良・可・不可の評語を用い、90点以上を秀、90点未満80点以上を優、80点未満70点以上を良、70点未満60点以上を可及び60点未満を不可とする。

(追試験及び再試験)

第20条 追試験は原則として行わない。ただし、学生が病気、公の証明のある事故等のやむ

を得ない事由により受験できなかった場合又は教育上必要と判断される場合は、願い出により、追試験を行うことがある。

2 不合格となった授業科目について、再試験は原則として行わない。ただし、学生が再試験を願い出たとき、教育上必要と判断された場合は、再試験を行うことがある。

3 前項の規定により再試験を行う場合の評価は、可(60点)又は不可とする。

(不正行為の措置)

第21条 試験の際、不正行為の事実が確認された場合、原則として、当該学期の全履修科目を不合格(0点)とする等の措置をとる。

2 前項の不正行為を行った者については、大学院学則第46条の規定により懲戒することがある。

3 第1項の不正行為に対する処置で不合格となった履修科目は、再試験を受けることができない。

(開示請求及び異議申立て)

第22条 本研究科の学生は、成績等の開示請求及び成績等に関する異議申立てを行うことができる。

2 前項の成績等の開示請求及び成績等に関する異議申立てに関し必要な事項は、別に定める。

(修士論文の提出)

第23条 学生は、必要な研究指導を受けた上で、本研究科の目的に応じた修士論文を作成し、指定した期日までに提出しなければならない。

(入学時期)

第24条 入学の時期は、学年の始めとする。

2 前項の規定にかかわらず、外国人留学生の入学については、学期の始めとすることができる。

(雑則)

第25条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

鹿児島大学大学院農林水産学研究科における学生の成績等開示請求及び異議申立てに関する規則

平成31年4月1日
農水研規則第11号

(趣旨)

第1条 この規則は、学生の成績等開示請求及び異議申立て等への対応に関する全学的指針(平成22年1月7日教育研究評議会決定)及び鹿児島大学大学院農林水産学研究科履修規則(平成31年農水研規則第10号)第22条第2項の規定に基づき、鹿児島大学大学院農林水産学研究科(以下「本研究科」という。)における学生の成績等開示請求及び異議申立てに関し、必要な事項を定める。

(対応組織)

第2条 学生の成績等開示請求及び異議申立てへの対応は、教務委員会が行う。

(開示請求)

第3条 本研究科の学生は、成績等の開示請求を行うことができる。

2 開示請求の対象は、当該学生の成績評価及び修了判定並びに当該学生が受けた試験の問題及び答案とする。ただし、国立大学法人鹿児島大学法人文書管理規則(平成16年規則第131号)に定める保存期間を満了したものを除く。

3 開示請求の受付期間は、成績発表及び修了判定結果の公示日(以下「公示日」という。)から起算して、原則として7日以内とする。ただし、異議申立て又は再異議申立て(以下「異議申立て等」という。)を行った後に開示請求を行う場合は、公示日からその回答を受理した日までの期間を加えるものとする。

4 開示請求を行う学生は、成績等開示請求書(別記様式第1号)を研究科長に提出しなければならない。

5 研究科長は、開示請求日から起算して、原則として10日以内に、開示請求に対する回答書(別記様式第2号)により、回答を行うものとする。ただし、10日以内に開示できない場合は、開示できない理由等を当該学生に説明するとともに、研究科長は、その状況を教育担当理事及び学生部長に報告するものとする。

(異議申立て)

第4条 本研究科の学生は、前条の開示結果又は開示請求によらず教学上の判定に不服のある場合は、異議申立てを行うことができる。

2 異議申立ての受付期間は、公示日から起算して、原則として7日以内とする。ただし、開示請求を行った後に異議申立てを行う場合は、公示日からその回答を受理した日までの期間を加えるものとする。

3 異議申立てへの回答に不服がある当該学生は、再異議申立てを行うことができる。

4 再異議申立ての受付期間は、異議申立ての回答を受理した日から起算して、原則として7日以内とする。

5 異議申立て又は再異議申立てを行う学生は、異議申立書・再異議申立書(別記様式第3号)を研究科長に提出しなければならない。

6 研究科長は、異議申立て及び再異議申立てについて、速やかに調査等を行い、申立ての

日から起算して、原則として7日以内に、異議申立て・再異議申立てに対する回答書(別記様式第4号)により、回答を行うものとする。

- 7 研究科長は、調査等により過失が認められたとき、疑義が想定されるとき等、7日以内に解決が困難な場合は、当該学生に状況を説明するとともに、その内容を、学長、教育担当理事、法務企画・コンプライアンス推進室長、監事及び学生部長(以下「学長等」という。)に報告し、対応について協議するものとする。

(調査及び調査結果報告等)

第5条 研究科長は、異議申立て又は再異議申立てに伴う調査等の結果、過失が認められたとき、疑義が想定されるとき等は、直ちに、過失又は疑義の発生原因が特定される時期まで遡って、組織的に調査等を行うものとする。

- 2 前項の調査等は、その開始日から、原則として1月以内に終了するものとし、調査終了後、研究科長は、速やかに、調査等の結果を学長等に報告するものとする。ただし、調査等に時間を要する場合は、適宜、進捗状況を報告するものとする。

- 3 研究科長は、当該学生に対し、適宜、途中経過を説明するとともに、調査等終了後に、その結果を説明するものとする。

- 4 研究科長は、第3条第5項並びに第4条第6項及び第7項に該当する事案が解決した場合は、遅滞なく、第3条第5項及び第4条第6項については教育担当理事及び学生部長に、第4条第7項については学長等に報告するものとする。

- 5 研究科長は、調査等の結果、成績評価等における重大な過失又は疑義が判明した場合は、成績評価基準、進級判定基準等の全ての教育の在り方について点検・見直しを行うものとし、重大な過失が判明した場合は、併せて学外有識者等による検証を実施するものとする。(休日等の取扱い)

第6条 この規則に定める各期限の到来日が国立大学法人鹿児島大学職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則(平成16年規則第57号)第13条及び第31条第1項第17号に基づく休日又は休業日に当たる場合は、当該日の直後の休日又は休業日でない日とする。

(雑則)

第7条 この規則に定めるもののほか、学生の成績等開示請求及び異議申立てに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

鹿児島大学大学院農林水産学研究科における早期修了に関する細則

平成31年4月1日

農水研細則第3号

(趣旨)

第1条 この細則は、鹿児島大学大学院農林水産学研究科履修規則(平成31年農水研規則第10号)第13条の規定に基づき、鹿児島大学大学院農林水産学研究科における早期修了に関し、必要な事項を定める。

(推薦)

第2条 指導教員は、早期修了を希望する者から申請があったときは、次に掲げる書類を添え、定められた期日までに早期修了候補者として研究科長に推薦するものとする。

- (1) 早期修了申請書(別記様式第1号)
- (2) 早期修了に関する推薦書(別記様式第2号)
- (3) 修士論文内容の要旨(別記様式第3号)
- (4) 公表論文(学術専門誌の掲載決定証明書又はそれに準ずる書類)
- (5) 研究業績書(別記様式第4号)
- (6) 前各号のほか、各専攻が必要と認めるもの

(適用資格判定)

第3条 専攻会議及び教務委員会は、前条の書類の審査を行う。

2 専攻長は、早期修了適用資格審査報告書(別記様式第5号)により研究科長に審査結果を報告する。

3 研究科長は、教授会に審査結果を報告し、早期修了の適用資格判定を行う。

(修士論文の提出)

第4条 早期修了の適用資格が認められた者は、研究科長に修士論文を提出することができる。

(修了判定)

第5条 早期修了候補者が修了要件を満たした場合は、教授会で審議し、学長に早期修了の認定を申請する。

(雑則)

第6条 この細則に定めるもののほか、早期修了に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この細則は、平成31年4月1日から施行する。

鹿児島大学大学院農林水産学研究科における修士論文の審査等に関する細則

平成31年4月1日

農水研細則第4号

(趣旨)

第1条 この細則は、鹿児島大学学位規則(平成16年規則第117号)第25条及び鹿児島大学大学院農林水産学研究科規則(平成31年農水研規則第9号)第8条の規定に基づき、鹿児島大学大学院農林水産学研究科(以下「本研究科」という。)の修士論文の審査等に関し、必要な事項を定める。

(申請資格)

第2条 修士論文の審査を申請することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 本研究科に2年以上在学し、30単位以上を修得した者又は当該年度末までに修得する見込みがある者
- (2) 本研究科に1年以上在学し、指導教員から推薦され、早期修了の適用資格認定を受けた者

(申請手続)

第3条 修士論文の審査を申請しようとする者は、公示された期限までに学位論文審査申請書(別記様式第1号)を主指導教員の承認を得て研究科長に提出するものとする。

(審査委員会)

第4条 研究科長は、前条の申請を受けたときは、速やかに申請者ごとに審査委員を選出し、審査委員会を設置するものとする。

- 2 審査委員会は、主査1名及び副査2名以上の計3名以上で構成する。
- 3 主査は主指導教員、副査は副指導教員2名とし、必要に応じて本研究科の担当教員の中から副査を加えることができる。
- 4 研究科長は、審査委員会を設置したときは、論文題目及び審査委員(別記様式第2号)により教授会に報告するものとする。

(論文発表会)

第5条 審査委員会は、提出された学位論文の論文発表会を、審査の一環として公開で行うことができる。

- 2 審査委員会は、前項の論文発表会を行うときは、申請者に必要な事項を通知するとともに、論文発表会の日程を公示する。

(論文審査及び最終試験)

第6条 審査委員会は、申請者の在学期間中に論文審査及び最終試験を行う。

- 2 論文審査は、学位論文、発表会等の評価により行う。
- 3 最終試験は、学位論文を中心としてこれと関連する科目について、口答又は筆答により行う。
- 4 論文審査及び最終試験の評価判定は、各審査委員が論文審査及び最終試験評価調書(別記様式第3号)により行うものとし、全審査委員の各評価が60点以上である場合は合格とする。
- 5 審査委員会は、前項の結果を修士論文及び最終試験審査報告書(別記様式第4号)に論

文審査及び最終試験評価調書を添えて、研究科長に報告するものとする。

(審査結果)

第7条 研究科長は、前条第5項の報告に基づき、教授会で学位論文及び最終試験の合否を決定する。

(雑則)

第8条 この細則に定めるもののほか、修士論文の審査等に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この細則は、平成31年4月1日から施行する。

鹿児島大学大学院農林水産学研究科における長期履修学生制度に関する申合せ

平成31年4月1日
農林水産学研究科教授会決定

鹿児島大学長期履修学生制度に関する取扱要項(平成16年12月21日学長裁定)第6及び鹿児島大学大学院農林水産学研究科履修規則(平成31年農水研規則第10号)第14条第2項の規定に基づき、鹿児島大学大学院農林水産学研究科における長期履修学生制度に関し、次のとおり申し合わせる。

(申請)

第1 長期履修学生になろうとする者は、申請書類のうち履修計画及び研究計画書について、事前に主指導教員の承認を得なければならない。

(履修基準)

第2 長期履修学生として認定された者の1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限は、次のとおりとする。ただし、特別な理由があると認められる場合は、この限りでない。

(1) 履修期間として標準修業年限に1年を加えた者 10単位

(2) 履修期間として標準修業年限に2年を加えた者 8単位

2 前項の登録することができる単位数の上限には、所属する専攻が開講する特別研究科目Ⅰ、Ⅱ及びⅢ(以下「特別研究」という。)は含まない。

3 長期履修学生の特別研究の履修時期は、当該学生が所属する分野又は主指導教員が定める。

(授業科目等の読替)

第3 授業科目等に科目名称等の変更が生じた場合は、協議の上、他の授業科目等に読み替えることができる。

鹿児島大学大学院農林水産学研究科における早期修了に関する申合せ

平成31年4月1日
農林水産学研究科教授会決定

鹿児島大学大学院農林水産学研究科における早期修了に関する細則(平成31年農水研細則第3号)第6条の規定に基づき、鹿児島大学大学院農林水産学研究科(以下「本研究科」という。)における早期修了に関し、次のとおり申し合わせる。

(早期修了審査の対象者)

第1 早期修了審査の対象者は、優れた研究成果を既に上げていると認められる者で、次の各号の条件を全て満たすものとする。

- (1) 修士論文の内容を含む学術論文が、国際的に評価の高い学術誌に筆頭著者として1報以上掲載され、又は掲載が認められたこと。
- (2) 本研究科に1年以上在学し、修了に必要な単位(未開講の特別研究を除く。)を修得していること。

2 各専攻が必要と認めるときは、前項に加え、早期修了審査の条件を設けることができる。

(特別研究の単位の認定)

第2 修士論文が可と判定されたときは、未開講の特別研究の単位を修得したものとみなす。

(修了の時期)

第3 早期修了の時期は、学期の末とする。

Rules of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries,
Kagoshima University

1 April 2019

Rule No.9 from the Rules of the Graduate School
of Agriculture, Forestry and Fisheries

(Purpose)

Article 1

Specified hereunder are rules necessary for the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University (hereinafter referred to as “the School”) in addition to the ones provided in the Academic Rules of Kagoshima University Graduate School (Rule No.87 of 2004, hereinafter referred to as “University Graduate School Rules”) and others.

(Courses)

Article 2

The following courses are fixed under the departments of the School.

Agriculture, Natural Resources and Forestry

Plant Production Science

Animal Science

Forest Management

Food and Agricultural Economics

Food Innovation Science

Food Science

Advanced Life Science

Microbiology and Fermentation Technology

Field Environment Science

Aquatic Biological Science

Environmental System Science

Fisheries Resource Science

Aquatic Bioresource Science and Technology

Aquaculture

Environmental and Conservation Sciences

Marketing and Management in Fisheries

(Objective)

Article 3

The School provides highly specialized education in the various fields which support the sound living of human communities. These include agriculture, forestry and fisheries, food science, environmental and life sciences. The school aims to train human resources who can contribute to

high-level research in the sciences of agriculture and fisheries, create advanced and smart agriculture, forestry and fisheries technology utilizing ICT, and other such approaches, deal with food safety, quality assurance and globalization, improve the communities they live in and eventually play an active part in the improvement of the world.

Paragraph 2

Each department of the School develops human resources as specified below.

Agriculture, Natural Resources and Forestry

Persons who have undergone advanced professional/practical education and acquired advanced techniques/theories in agriculture, forestry and livestock resources and have the capability to take a leadership position and play a central role in the promotion and development of agriculture, forestry and livestock industries as well as identify problems and solve them in local communities in southern Kyushu, which is a major international and domestic farm producer.

Food Innovation Science

The Department develops human resources who possess advanced professional knowledge in food science of agricultural, livestock and fisheries resources, advanced life sciences, applied science and technology for food development, food processing and preservation science, shochu (distilled alcoholic beverage)/fermented foods and microorganisms, and have the skills to recommend and implement solutions to problems and to take a leading role in dealing with issues in the food and life science industries.

Field Environment Science

The Department provides the advanced scientific knowledge necessary to understand the climate, environment, types of disasters, biological resources unique to the land and sea area surrounding the Nansei Islands and southern Kyushu and the relationships among them in addition to gaining practical knowledge and sophisticated techniques on environmental conservation and agricultural production environment/infrastructure of such localities. The goal is to nurture students into human resources who identify and recommend solutions to the problems regarding these and to contribute to the development of local agriculture while playing a central role in local communities.

Fisheries Resource Science

The department provides professional education on fishery policy, fishery distribution, biological resource, resource production, aquaculture and environmental conservation. In addition, the department trains human resources who possess a comprehensive and professional understanding about the socioeconomic issues surrounding the fishery industry, various issues relating to its resources, fishing techniques, aquaculture techniques and the fishing ground environment and the approach to solving these problems and playing an active role locally and internationally in the development of the fisheries industry.

(Teaching Staff)

Article 4

According to Article 11, Paragraph 1 of the University Graduate School Rules, the School shall have teaching staff (hereinafter referred to as “teaching staff”) who teach classes and supervise student work on their Master’s thesis (hereinafter referred to as “research supervision”). The course allocation of the teaching staff for individuals, departments and courses shall be clarified at all times.

Paragraph 2

In addition to the teaching staff specified in the preceding paragraph, the Graduate School may have teachers who exclusively teach classes.

Paragraph 3

The required qualifications and method of selection for the teaching staff and teachers shall be provided separately.

Paragraph 4

Notwithstanding the provisions in the foregoing three paragraphs, the qualification screening for the teachers of the Postgraduate (Master) Programme on Tropical Fisheries with International Linkage shall be conducted according to the Common Rule for Postgraduate (Master) Programme on Tropical Fisheries with International Linkage (hereinafter referred to as “Common Rules”) and others provided separately.

(Supervisors)

Article 5

The School shall appoint main supervisors who offer overall research supervision to students and co-supervisors who assist the main supervisor in research supervision. Each student shall have one main supervisor, one 1st co-supervisor and one 2nd co-supervisor.

Paragraph 2

The main supervisors specified in the preceding paragraph must meet the qualifications for the main supervisor. The co-supervisors must satisfy the qualifications for the main supervisor or the ones for the co-supervisor.

Paragraph 3

Notwithstanding the provisions of the foregoing two paragraphs, the supervisors in charge of students who have registered with the Postgraduate (Master) Programme on Tropical Fisheries with International Linkage must meet the qualifications specified in the Common Rules and others.

(Admissions Selection)

Article 6

The method of admissions selection of the School shall be provided separately.

(Curriculum and Registration Method)

Article 7

The contents and the number of credits of each subject, the contents of research supervision and the registration method of the School shall be provided separately.

(Examination of Master's Thesis)

Article 8

Necessary information about the examination on the research results for a master's thesis and the final examination shall be provided separately.

(Degrees)

Article 9

The degrees to be awarded to students who have completed the School are as follows.

Agriculture, Natural Resources and Forestry: master's degree (Agriculture and Forestry Science).

Food Innovation Science: Master's degree (Agriculture and Forestry Science) or master's degree (Fisheries Science).

Field Environment Science: Master's degree (Agriculture and Forestry Science) or master's degree (Fisheries Science).

Fisheries Resource Science: master's degree (Fisheries Science)

Paragraph 2

The name of the degree field awarded to students who have completed Food Innovation Science and Field Environment Science shall be determined based on their research field and the subjects in which credits are awarded.

(Re-enrollment)

Article 10

Regarding persons who apply for re-enrollment in the School under Article 31, Paragraph 1, Item 1 of the University Graduate School Rules, re-enrollment may be permitted after the screening at the Faculty Council. However, this shall not apply to students who left the School more than two years prior to the time of re-enrollment.

Paragraph 2

Students who have been granted re-enrollment pursuant to the provision of the preceding paragraph shall belong to the department they had belonged to before they left the School.

Paragraph 3

In principle, the period of admission of students who have been granted re-enrollment pursuant to the provision of the preceding paragraph shall be the beginning of the school year.

Paragraph 4

The term of enrollment for people who have been granted re-enrollment pursuant to the provision of Paragraph 1 shall include the period of study before withdrawal or expulsion, and the number of credits they had acquired before withdrawal shall be calculated into the number of credits to be obtained.

(Change of Department or Graduate School, Transfer)

Article 11

Students of the School who wish to change the department they belong to may be allowed to do so after consideration at the Faculty Council.

Paragraph 2

Students of the School who wish to transfer to another Graduate School may be allowed to do so pursuant to the rules provided by the Graduate School they wish to transfer to after deliberations at the Faculty Council.

Paragraph 3

Students of another Graduate Schools who wish to transfer to the School may be admitted, if and only if there is a vacancy, to the corresponding year after deliberations at the Faculty Council.

Paragraph 4

Students of other universities who wish to transfer to the School may be admitted, if and only if there is a vacancy, to the corresponding year after deliberations at the Faculty Council.

Paragraph 5

The length of study of and the number of credits already acquired by the students allowed in from other Graduate Schools or universities pursuant to the preceding two paragraphs shall be determined based on the deliberations of the Faculty Council.

(Research Student)

Article 12

Students who wish to enroll as a research student may be admitted after deliberations at the Faculty Council.

Paragraph 2

All research students shall follow the Kagoshima University Research Student Rules (Rule No.113 of 2004) and others provided separately.

(Non-Degree Student)

Article 13

Students who wish to enroll as an audit student may be admitted after deliberations at the Faculty Council.

Paragraph 2

Non-Degree Student shall follow the Kagoshima University Non-Degree Student Rules (Rule No.112 of 2004) and others provided separately.

(Miscellaneous)

Article 14

The rules which apply to the School shall be those specified herein and those provided separately.

Supplementary provision

The above specified rules have been in effect since 1 April 2019.

Curriculum and Registration Rules
Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries
Kagoshima University

1 April 2019

Rule No.10 from the Rules of the Graduate School of
Agriculture, Forestry and Fisheries

(Purpose)

Article 1

Specified hereunder are the rules to be followed regarding the curriculum and registration, and other issues of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University (hereinafter referred to as “the School”) pursuant to the provisions specified in Article 7 of the Rules of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University (Rule No.9 from the Rules of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries of 2019, hereinafter referred to as “Graduate School Rules of GAFF”).

(Foreign Student Programme)

Article 2

The School shall offer a Foreign Student Programme to enable international students to complete the master’s course through studies conducted exclusively in English.

Paragraph 2

International students of the School may register for the Foreign Student Programme, regardless of the Courses listed in Article 2 of the Graduate School Rules of GAFF.

Paragraph 3

The specifics of the Foreign Student Programme are provided in the Course Guidebook.

(International Linkage Programme in Tropical Fisheries)

Article 3

The School offers the International Linkage Programme in Tropical Fisheries to develop personnel who can solve a wide range of problems. The program collaborates with overseas graduate schools and organizes a single program having a common curriculum, organization/education rules, management organization, and others to train students under an international and high-quality educational environment.

Paragraph 2

Students of the School may register for International Linkage Programme in Tropical Fisheries, regardless of the Courses listed in Article 2 of the Graduate School Rules of GAFF.

Paragraph 3

The specifics of International Linkage Programme in Tropical Fisheries are provided

separately.

(Method of Education)

Article 4

The School educates students through course work and research supervision.

Paragraph 2

The School's curriculum consists of "compulsory", "compulsory elective", "elective" and "non-credit" subjects.

Paragraph 3

The subjects, the number of credits and how to take courses of the School are detailed in the Guidebook for taking courses.

(Credits)

Article 5

Pursuant to Article 40, Paragraph 1 of the Academic Rules of Kagoshima University (Rule No.86 of 2004, hereinafter referred to as "University Rules"), credits shall be calculated as follows.

- (1) One credit for lectures or practices shall be 15 to 30 hours-worth of classes.
- (2) One credit for experiments or trainings shall be 30 to 45 hours-worth of classes.
- (3) In cases where a subject combines two or more methods of lectures, practices, experiments, practical or trainings, one credit shall be determined depending on such combination and pursuant to the class hours specified in the preceding two Items.

(Semester)

Article 6

If the semester specified in Article 24 of University Rules is operated under a quarter system, the following shall apply.

- (1) I a and III a quarter: the first eight weeks of the first semester.
- (2) I b and III B quarter: the eight weeks following the I a and III a quarter.
- (3) II a and IV a quarter: the first eight weeks of the second semester.
- (4) II b and IV b quarter: the eight weeks following the II a and IV a quarter.

Paragraph 2

International Linkage Programme in Tropical Fisheries specified in Article 3 shall be offered during the summer session.

(Registration of Subjects)

Article 7

Students must register the subjects they take with the designated registration form within the period specified by the School.

Paragraph 2

In principle, changes to the registration of subjects shall not be permitted unless such changes are notified within the designated period for registration change. However, except for subjects offered overseas, registration may be altered if either of the following apply.

- (1) In cases when a registration cancellation form is submitted with a doctor's certificate attached due to long-term absence caused by illness, injury, etc.
- (2) In cases when a registration cancellation form is submitted within three weeks after the registration is confirmed.

Paragraph 3

Notwithstanding the provisions in the foregoing paragraph, rules provided separately shall apply to the registration cancellation for subjects offered during the summer session, intensive subjects, on-board trainings and subjects specified in the Guidebook as those offered by the Member Schools under the Postgraduate (Master) Program on Tropical Fisheries with International Linkage (hereinafter referred to as "ILP").

Paragraph 4

Students are not allowed to attend classes they have not registered for.

Paragraph 5

On-board training is limited to approximately one week. Therefore, other subjects listed can be registered in duplicate in the same time cell on the on-board course work timetable.

(Maximum number of registerable subjects)

Article 8

In one semester, students can register for 16 or fewer credits in subjects required for completion and compulsory subjects.

Paragraph 2

Excluded from the limitation specified in the foregoing paragraph are credits for subjects conducted during the summer session, intensive subjects and other occasional subjects.

(Special Methods of Education)

Article 9

If necessary, special methods of education may be adopted, and classes or research supervision may be conducted at night or in other time slots or other periods on the school calendar.

(Registration of subjects offered by other Graduate Schools)

Article 10

Students may take subjects offered by other Graduate Schools pursuant to the provisions set forth by such Graduate Schools.

Paragraph 2

When taking subjects offered by other Graduate Schools pursuant to the provision of the preceding paragraph, permission of the Dean of the Graduate School must be obtained in advance through the Dean of the School.

Paragraph 3

Credits obtained pursuant to the provision of Paragraph 1 may be recognized as credits for the elective subjects of the School the students have been granted to attend pursuant to the specifications set forth by respective Courses. The limit to credits obtained in this way is 10.

(Subjects taken at other graduate schools at other universities)**Article 11**

Pursuant to the provision of Article 21 of the Academic Rules of Kagoshima University Graduate School (Rule No.87 of 2004, hereinafter referred to as the University Graduate School Rules), students may take subjects offered by other graduate schools of other universities (including overseas graduate schools).

Paragraph 2

Credits obtained pursuant to the provision of the preceding paragraph may be recognized as having been acquired by taking the elective subjects offered by the School if taking such subjects is deemed necessary by the supervisor in advance.

Paragraph 3

Notwithstanding the provisions in the two preceding paragraphs, rules provided separately shall apply to students who have registered for ILP and taken subjects offered by the Member Schools of the ILP.

(Treatment of credits acquired before enrollment)**Article 12**

Treatment of credits obtained at other graduate schools of Kagoshima University or other universities (including overseas graduate schools) before the enrollment to the School shall be specified separately.

(Early Completion)**Article 13**

Treatment of students who have achieved outstanding performance pursuant to the proviso to Article 39, Paragraph 1 of the University Graduate School Rules shall be specified separately.

(Curriculum Study over an Extended Period)**Article 14**

In case students wish, due to occupational requirements and other such issues, to finish

the curriculum required for completion of the Course systematically over an extended length of time beyond the standard length of study specified in Article 14 of the University Graduate School Rules, they may be allowed to do so.

Paragraph 2

Matters necessary for the provision of the preceding paragraph shall be specified separately.

(Examination on the Subjects)

Article 15

The examination on the subject is conducted at the end of the semester. However, it may be done on an ad hoc basis if necessary.

(Examination Qualifications)

Article 16

Students may take the examination specified in the preceding Article only if they have attended more than two-thirds of the classes of the subjects for which they have registered for.

(Examination Method)

Article 17

The examination of the subject set forth in Article 14 shall be conducted by a written examination, oral examination or research report by the teacher in charge of the class, and the score shall be determined by the teacher.

Paragraph 2

If the teacher specified in the preceding paragraph experiences an unexpected circumstance, the examination shall be conducted by another faculty member specified by the Dean of the School based on the opinions of the Faculty Council.

(Grading)

Article 18

Grades are judged by the teacher in charge of the class at the end of the semester or school year. However, if such teacher has retired or experiencing an unexpected circumstance, another faculty member appointed by the Faculty Council shall do so.

Paragraph 2

Students who intend to receive a grade evaluation must submit the list of subjects they have registered for to the Dean of the School by the prescribed date.

Paragraph 3

Students may take a grade evaluation only on those subjects of which they have attended the classes.

Paragraph 4

Reevaluation may be conducted if it is deemed necessary by the Faculty Council.

(Grading Criteria)

Article 19

Students who obtained sixty points or more out of the full score of 100 shall pass the examination and be granted a credit, while those who are below 60 points shall not pass and not be granted a credit.

Paragraph 2

If it is necessary to announce the results specified in the preceding paragraph, one of five-grade scores shall be used: “excellent”, “very good”, “good”, “pass” and “fail”.

“Excellent” is 90 points or more, “very good” 80 points or more, “good” 70 points or more, “pass” 60 points or more and “fail” below 60 points.

(Makeup Examination and Reexamination)

Article 20

In principle, a makeup examination shall not be conducted. However, if a student is unable to take the examination due to an unavoidable reason such as illness or an accident evidenced by a public certification, or if it is necessary for educational reasons, a makeup examination may be conducted upon request.

Paragraph 2

In principle, re-examinations due to a failing grade will not be conducted. However, if a student requests a re-examination and it is deemed necessary for educational reasons, it may be conducted.

Paragraph 3

The evaluation of the re-examination specified in the preceding paragraph shall be either “pass” (60 points) or “fail”.

(Measures against Act of Cheating)

Article 21

In principle, if an act of cheating is found during an examination, measures shall be taken to give a failing score (0 points) to all subjects the student has taken in the semester.

Paragraph 2

A person who has committed an act of cheating set forth in the preceding paragraph may be disciplined pursuant to the provision of Article 46 of the University Graduate School Rules.

Paragraph 3

Re-examination shall not be conducted on the subject one has failed due to an act of cheating specified in Paragraph 1.

(Disclosure Request and Objection)

Article 22

Students of the School may file requests for disclosure of grades and objections to grades, and other such actions.

Paragraph 2

Matters related to grades, the disclosure request protocol set forth in the preceding paragraph and objections to grading results shall be specified separately.

(Submission of Master's Thesis)

Article 23

After receiving the necessary research supervision, students must compile a master's thesis pursuant to the purpose of the School and submit it by the specified date.

(Period of enrollment)

Article 24

The period of enrollment is the beginning of the school year.

Paragraph 2

Notwithstanding the foregoing, international students may be enrolled at the beginning of the semester.

(Miscellaneous)

Article 25

Necessary rules other than those specified herein shall be provided separately.

Supplementary provision

The above specified rules have been in effect since 1 April 2019.

Rules for Grade Disclosure Request and Objection from Students
Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University

1 April 2019

Rule No.11 from the Rules of the Graduate School of
Agriculture, Forestry and Fisheries

(Purpose)

Article 1

The following rules shall apply to grade disclosure requests and objections filed by students of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University (hereinafter referred to as “the School”) pursuant to the University-wide Guideline on Grade Disclosure Request and Objection from Students (Decision of 7 January 2010 by Education and Research Council) and the provisions in Article 22, Paragraph 2 of the Curriculum and Registration Rules of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University (Rule No.10 from the Rules of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries of 2019).

(Organization in Charge)

Article 2

The Academic Affairs Committee shall handle grade disclosure requests and objections filed by students.

(Disclosure Request)

Article

Students of the School may file a request for disclosure of their grades.

Paragraph 2

The disclosure request shall concern the grade evaluation, completion judgment, examination questions, and answers made by the student. However, data that is excluded from the foregoing shall be any data for which the retention period has expired pursuant to National University Corporation Kagoshima University Corporate Document Management Rules (Rule No.131 of 2004).

Paragraph 3

In principle, a disclosure request may be accepted within seven days after the day on which grades and completion judgment are given public notice (hereinafter referred to as the “public notice day”). However, in cases of disclosure requests being filed after objection/second objection, such period shall be extended by the number of days between the public notice day and the date on which the response is received.

Paragraph 4

Students filing a disclosure request must submit the Grade Disclosure Request

(Appended Form No.1) to the Dean of the School.

Paragraph 5

In principle, the Dean of the School shall respond to the request by Response Sheet (Appended Form No.2) within 10 days after the day on which the disclosure request is filed. In cases where it is impossible to do so within 10 days, the Dean shall explain to the student why disclosure is impossible and report the situation to the Executive Vice President for Education and the Director of the Student Affairs Department.

(Objection)

Article 4

Instead of waiting for the results of the disclosure request or filing a disclosure request specified in the preceding Article, students of the School may file an objection if they are dissatisfied with academic decisions.

Paragraph 2

In principle, an objection shall be accepted within seven days after the public notice day. However, in cases when an objection is filed after a disclosure request, the number of days between the public notice day and the day on which the response is received shall be added to the seven days.

Paragraph 3

Students dissatisfied with the response to the objection may file a second objection.

Paragraph 4

In principle, the second objection shall be accepted within seven days after the day on which the response to the first objection is received.

Paragraph 5

Students filing an objection for the first time or second time must submit a written Objection or Second Objection (Appended Form No.3) to the Dean of the School.

Paragraph 6

The Dean of the School shall promptly start an investigation of the objection or second objection and reply with a Response Sheet (Appended Form No.4) within seven days, in principle, after the day on which the objection is filed.

Paragraph 7

In cases when it is impossible to solve the issue within seven days for reasons such as negligence or suspicion found by the investigation, and other such issues, the Dean of the School shall explain the matter to the student and report the situation to the President, Executive Vice President for Education, Director of Legal Planning and Compliance Promotion Office, Auditor and Director of the Student Affairs Department (hereinafter referred to as “President and other members”) to find a solution.

(Investigation and Report of the Result)

Article 5

In cases when negligence or suspicion is confirmed by the investigation after an objection or second objection is filed, the Dean of the School shall investigate the matter systematically and consider the case retroactively to find the cause.

Paragraph 2

The investigation set forth in the preceding paragraph shall, in principle, be completed within one month from the start date. Upon completion, the Dean of the School shall promptly report the results to the President and other members. However, if such investigation takes time, the progress shall be reported as appropriate.

Paragraph 3

The Dean of the School shall describe the progress to the student as appropriate, and shall explain the results when the investigation is completed.

Paragraph 4

The Dean of the School shall report, without delay, the results to the Executive Vice President for Education and the Director of the Student Affairs Department when matters related to Article 3, Paragraph 5 and Article 4, Paragraph 6 are solved and to the President and other members when matters related to Article 4, Paragraph 7 are solved.

Paragraph 5

In cases when gross negligence or suspicion arises regarding grading as a result of an investigation, the Dean of the School shall conduct inspections and reviews of all the educational settings including grading criteria, advancement criteria. In the event that gross negligence is confirmed, verification by outside experts shall be conducted at the same time.

(Handling on non-business days)

Article 6

If the deadlines specified herein fall on holidays or non-business days according to Article 13 and Article 31, Paragraph 1, Item 17 of the Rules on Working Hours, Non-business Days and Holidays of the Staff of National University Corporation Kagoshima University (Rule No.57 of 2004), they will be put off to the working day immediately afterwards.

(Miscellaneous)

Article 7

Necessary rules other than those specified herein regarding the grade disclosure requests and objections filed by students shall be provided separately.

Supplementary provision

The above specified rules have been in effect since 1 April 2019.

Detailed Rules for Early Completion of
the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries
Kagoshima University

1 April 2019

Detailed Rule No. 3 from the Rules of the Graduate School of
Agriculture, Forestry and Fisheries

(Purpose)

Article 1

Stipulated hereunder are the necessary rules regarding the early completion of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University pursuant to the provision of Article 13, Curriculum and Registration Rules of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University (Rule No.10 from the Rules of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries of 2019).

(Recommendation)

Article 2

When an application is made by a student who wishes to complete the curriculum early, the student's supervisor shall recommend, by the specified date, the student to the Dean of the School as a candidate for early completion and submit the following documents.

- (1) Early Completion Application (Appended Form No.1)
- (2) Letter of Recommendation for Early Completion (Appended Form No.2)
- (3) Summary of the contents of the master's thesis (Appended Form No.3)
- (4) Published papers (Certificate or equivalent document of decision to publish in academic journals)
- (5) Research achievements (Appended Form No.4)
- (6) Documents other than those mentioned above required by each Department.

(Qualification Judgment)

Article 3

The Department Committee and the Academic Affairs Committee shall review the documents listed in the preceding Article.

Paragraph 2

The Chairperson of the Department shall report the screening results to the Dean of the School by Early Completion Qualification Screening Report (Appended Form No.5).

Paragraph 3

The Dean of the School shall report the screening results to the Faculty Council where judgment shall be made on whether or not to grant an Early Completion status.

(Submission of Master's Thesis)

Article 4

Students who have satisfied the Early Completion qualifications may submit a master's thesis to the Dean of the School.

(Completion Judgment)

Article 5

In the event an applicant for Early Completion has met the requirements, the Faculty Council shall discuss the matter, and an application for Early Completion shall be submitted to the President.

(Miscellaneous)

Article 6

Necessary rules regarding early completion, other than those specified herein, shall be provided separately.

Supplementary provision

The above specified rules have been in effect since 1 April 2019.

Detailed Rules for the Screening of Master's Theses at
the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries,
Kagoshima University

1 April 2019

Detailed Rule No.4 from the Rules of the Graduate School of
Agriculture, Forestry and Fisheries

(Purpose)

Article 1

Stipulated hereunder are necessary rules concerning the screening of Master's theses of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University (hereinafter referred to as "the School") pursuant to the provisions of Article 25, the Degree Rules of Kagoshima University (Rule No.117 of 2004) and the Article 8 of the Rules of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University (Rule No.9 from the Rules of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries of 2019).

(Application qualifications)

Article 2

In order to apply for the screening of master's thesis, students must satisfy either of the following two qualifications.

- (1) Students who have studied at the School for two years or more and been awarded or are expected to be awarded 30 or more credits by the end of the school year.
- (2) Students who have studied at the School for one year or more, been recommended by their supervisors and satisfied the qualifications for Early Completion.

(Application procedures)

Article 3

In order to apply for the screening of a master's thesis, students must submit, upon obtaining the approval of their main supervisor, the Application for the Screening of Master's Thesis (Appended Form No.1) to the Dean of the School by the announced deadline.

(Screening committee)

Article 4

When the application specified in the preceding Article is submitted, the Dean of the School shall promptly select the screening members for each applicant and set up a screening committee.

Paragraph 2

The screening committee shall consist of three or more judges including one main judge and two assistant judges.

Paragraph 3

The main judge shall be the main supervisor and the assistant judges the two co-supervisors. As

necessary, additional assistant judges may be appointed from the teachers of the School.

Paragraph 4

After setting up a screening committee, the Dean of the School shall submit the Thesis Title and Screening Committee Members (Appended Form No.2) to the Faculty Council.

(Presentation of Master's thesis)

Article 5

The screening committee may hold a public presentation of the submitted master's thesis as part of the screening process.

Paragraph 2

Prior to the public presentation specified in the preceding paragraph, the screening committee shall notify the applicant of necessary matters and announce the date of the thesis presentation publicly.

(Screening of master's thesis and final examination)

Article 6

The screening committee shall conduct the thesis screening and final examination before the applicant graduates.

Paragraph 2

The thesis screening shall be conducted through the evaluation of the master's thesis and public presentation.

Paragraph 3

The final examination shall be conducted mostly through the evaluation of the master's thesis and an oral or written examination on the subjects related to the thesis.

Paragraph 4

Each member of the screening committee shall participate in the judgment and final examination of the Thesis Screening and Final Examination Evaluation Record (Appended Form No.3). The applicant shall pass the examination and thesis defense if each and every member of the committee awards 60 points or more.

Paragraph 5

The screening committee shall report the results and submit the master's thesis and Final Examination Screening Report (Appended Form No.4) and the Thesis Screening and Final Examination Evaluation Record to the Dean of the School.

(Screening results)

Article 7

Based on the report specified in Paragraph 5 of the preceding Article, the Dean of the School shall judge the result of the master's thesis examination and final examination at the Faculty Council.

(Miscellaneous)

Article 8

Necessary rules concerning the screening of a master's thesis other than those specified herein shall be provided separately.

Supplementary provision

The above specified rules have been in effect since 1 April 2019.

Agreements on System for Extending the Period of Registration of the
Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University

1 April 2019

Decision of the Faculty Council of the Graduate School of
Agriculture, Forestry and Fisheries

The following is the agreements regarding the System for Extending the Period of Registration of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University, according to the provisions of Article 6 of the Guidelines for System for Extending the Period of Registration at Kagoshima University (decided by the President on 21 December 2004) and Article 14, Paragraph 2 of the Curriculum and Registration Rules of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University (Rule No.10 from the Rules of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries of 2019).

(Application)

Article 1

A student who intends to extend their registration (a long-term student) must obtain the approval of the main supervisor on the curriculum/registration plan and the research plan included in the application documents.

(Curriculum and Registration Criteria)

Article 2

The maximum number of credits a person certified as a long-term student can register for per year shall be as follows. However, if there is a special reason, this shall not apply.

- (1) Students who have added one year to the standard length of study: 10 credits.
- (2) Students who have added two years to the standard length of study: 8 credits.

Paragraph 2

The maximum number of credits set forth in the preceding paragraph shall not apply to the Special Research Subjects I, II and III offered by the department one belongs to (hereinafter referred to as “special research”).

Paragraph 3

The period of study for a long-term student’s special research shall be determined by the field to which the student belongs or by the main supervisor.

(Alteration of Subject Name)

Article 3

In the event of a change in the name of a subject due to the alteration of curriculum or other factors, the re-named subject can be substituted with the old one upon confirmation.

Agreements on the Early Completion of
the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries,
Kagoshima University

1 April 2019

Decision of the Faculty Council of
the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries

The following is the agreements regarding the Early Completion of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University (hereinafter referred to as “the School”) according to the provisions of Article 6 of the Detailed Rules for Early Completion of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University (Detailed Rule No.3 from the Rules of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries of 2019).

(Eligibility for Early Completion Screening)

Article 1

Applicants for early completion screening shall be students who are recognized as having already produced excellent research results and shall meet all of the following qualifications.

- (1) One or more academic papers containing the contents of the applicant’s master’s thesis have been published or approved, citing the applicant as the lead author, in internationally acclaimed academic journals.
- (2) The applicant has been enrolled in the School for more than a year and obtained the credits required for completion (excluding special research that has not been started).

Paragraph 2

If necessary, each department may add qualifications for early completion in addition to the ones mentioned in the preceding paragraph.

(Recognition of Special Research Credits)

Article 2

When a master’s thesis is accepted, the applicant is considered to have acquired credits for special research that has not been started.

(Period of Early Completion)

Article 3

The period of early completion shall be the end of the semester.